

民家の再生

信州大学工学部建築学科
建築設計製図Ⅳ課題

課題内容

須坂の民家を再生せよ

- ・ 2世帯以上の家族（合計10人以上）が住まうことのできる集合住宅を提案する。
人が集住することによって生まれる魅力的な暮らしを設定すること。
- ・ まちのニーズに対応した用途（店舗や公共施設など）を提案する。
まちの現状や歴史、文化を分析し、敷地にふさわしい用途を設定すること。
- ・ 「再生」：古いものと新しいものの建築的な関係を提案する。
なるべく既存を活かし、大規模な増築はしないこと。
ただし、古いものにこだわりすぎないこと。

対象建物：ふれあい館しらふじ



対象建物：ふれあい館しらふじ



聞き取り風景



実測内容

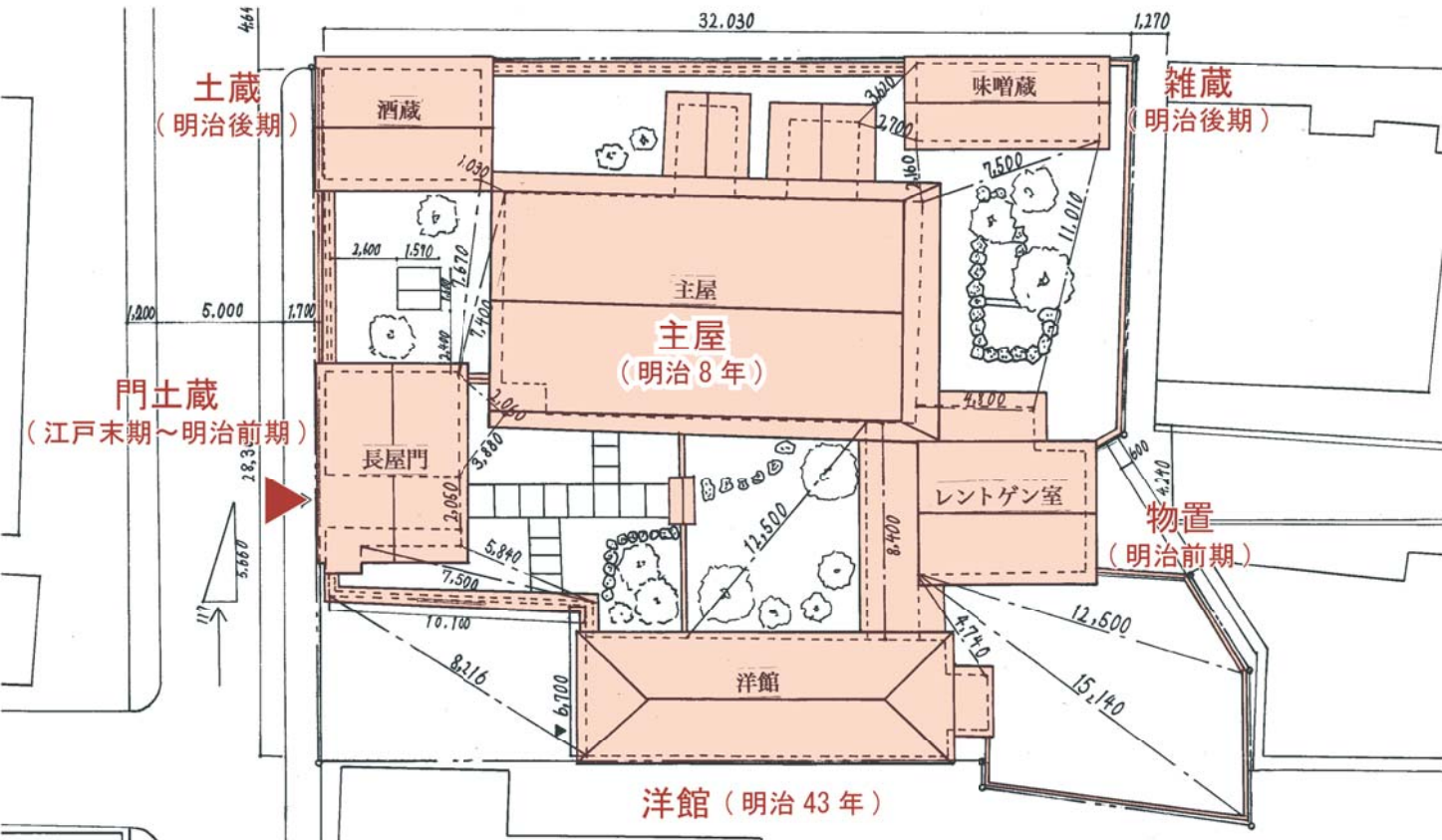


授業の様子

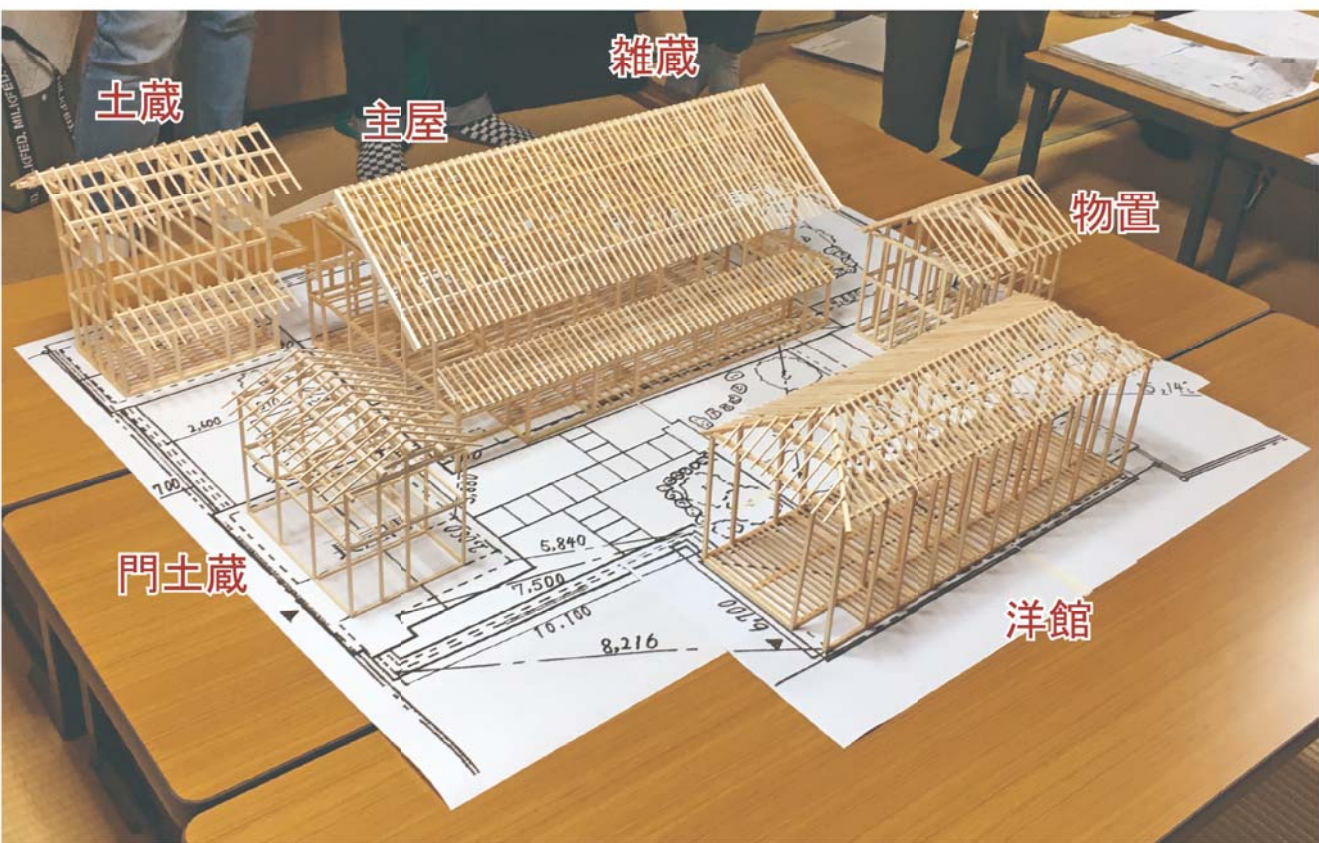
●実測内容

- ・ 配置図、隣地関係
- ・ 主屋・洋館
 - 平面図
 - 立面図（全面）
 - 矩計図（直行2面）
 - 小屋伏せ図（主屋のみ）
- ・ 土蔵4棟
 - 平面図
 - 断面図

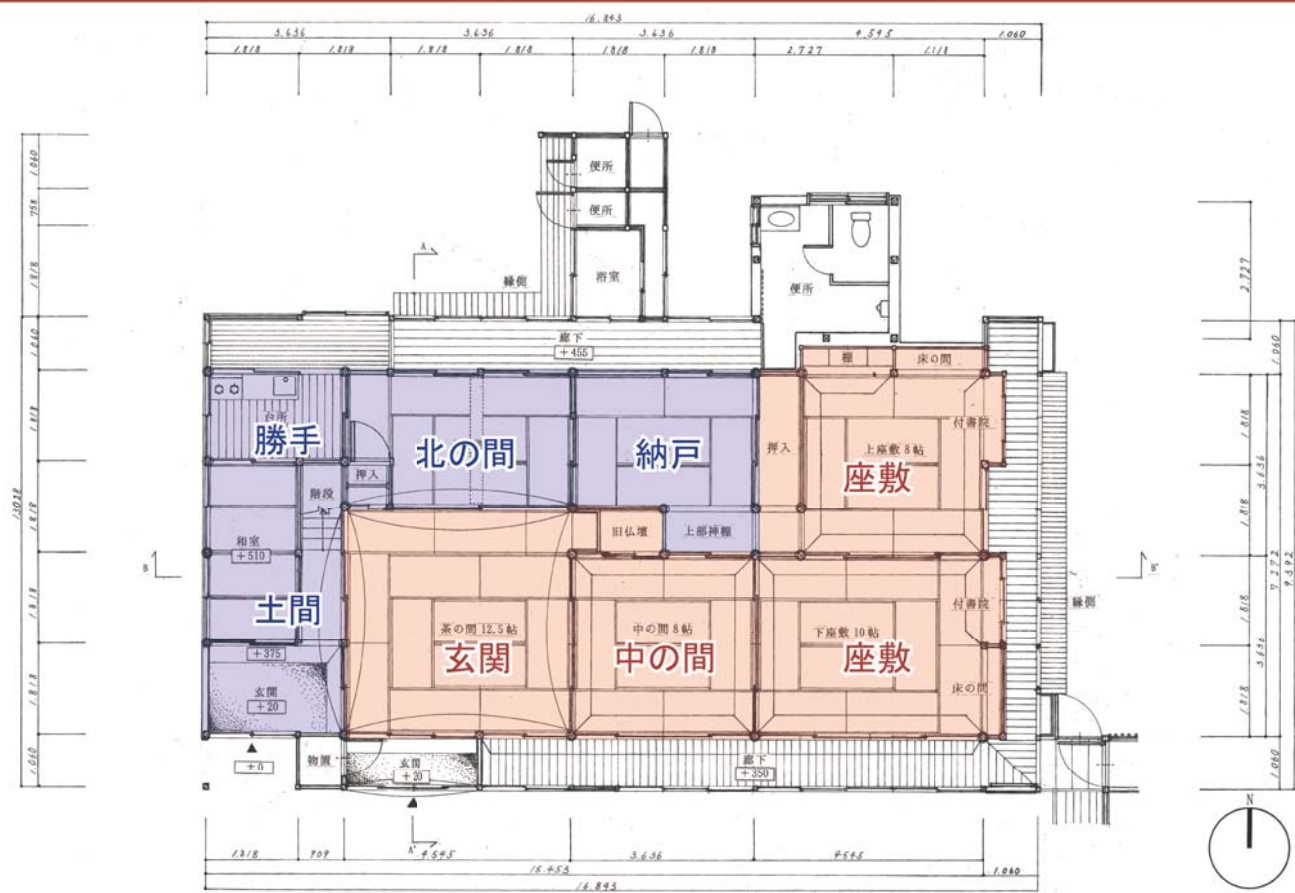
実測図面：配置図



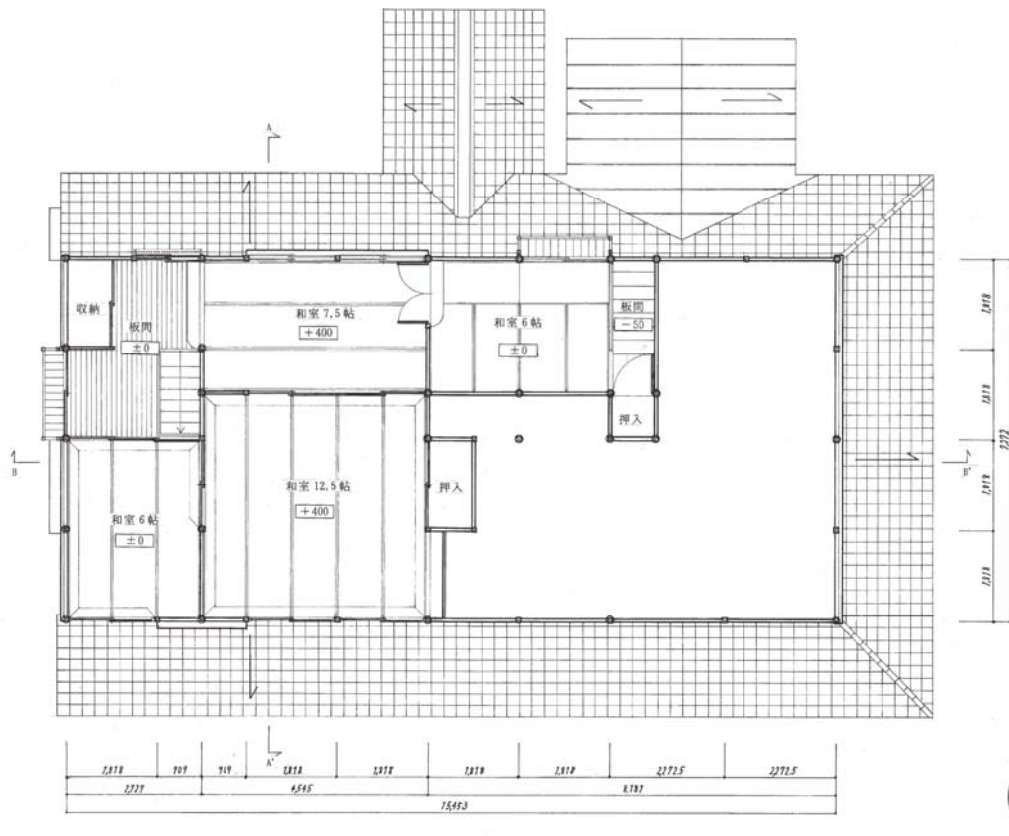
架構模型



実測図面：主屋 平面図（一階）



実測図面：主屋 二階平面図



This architectural elevation drawing shows a traditional Japanese house with a gabled roof. The drawing includes detailed dimensions for the structure's height and width. Key features and dimensions include:

- Roof:** The main roof has a pitch of 10°. The eaves are labeled with a height of 2.565m. The ridge height is 2.345m. The total height from the ground level (GL) to the ridge is 5.029m. The total height from the ground level to the eaves is 8.124m.
- Rooms:**
 - 和室 (Washitsu):** Two rooms are shown, labeled "和室 7.5帖" and "和室 12.5帖".
 - 茶の間 (Chawanoma):** A room labeled "茶の間 12.5帖".
 - 北の間 (Kita no Ma):** A room labeled "北の間 7帖".
 - 廊下 (Koridomo):** A hallway labeled "廊下".
 - 玄関 (Genkan):** The entrance area labeled "玄関".
- Dimensions:**
 - Height:** The total height from the ground level (GL) to the ridge is 5.029m. The height from the ground level to the eaves is 8.124m. The height from the ground level to the top of the main structure is 2.345m. The height from the ground level to the top of the entrance area is 2.744m.
 - Width:** The total width of the house is 9.392m. The width of the main structure is 6.545m. The width of the entrance area is 1.860m. The width of the hallway is 2.727m.
- Other Labels:**
 - 土間 (Dome):** The ground level is labeled "土間".
 - 基礎 (Kijou):** The foundation is labeled "基礎".
 - 壁 (Kabe):** The wall is labeled "壁".
 - 柱 (Hiji):** The pillar is labeled "柱".
 - 梁 (Ryuu):** The beam is labeled "梁".
 - 桁 (Hira):** The rafters are labeled "桁".
 - 瓦 (Iwa):** The tiles are labeled "瓦".
 - 土間 (Dome):** The ground level is labeled "土間".
 - 基礎 (Kijou):** The foundation is labeled "基礎".
 - 壁 (Kabe):** The wall is labeled "壁".
 - 柱 (Hiji):** The pillar is labeled "柱".
 - 梁 (Ryuu):** The beam is labeled "梁".
 - 桁 (Hira):** The rafters are labeled "桁".
 - 瓦 (Iwa):** The tiles are labeled "瓦".

Architectural floor plan of the first floor of a traditional Japanese building. The plan shows a layout with various rooms including a '和室' (Washitsu) of 6 tatami, a '茶の間' (Chawanoma) of 12.5 tatami, a '事務室' (Shomushitsu), a '中の間' (Nakanoma) of 8 tatami, a '下座敷' (Shozashiki) of 10 tatami, and a '前室' (Maeshitsu) of 12.5 tatami. The plan also includes a staircase, a '付書院' (Tsushu-in), and a '廊下' (Koridomo). Dimensions are provided in meters and tatami. The plan is labeled '第一階' (First Floor) and includes a scale bar at the bottom.

[illegible]

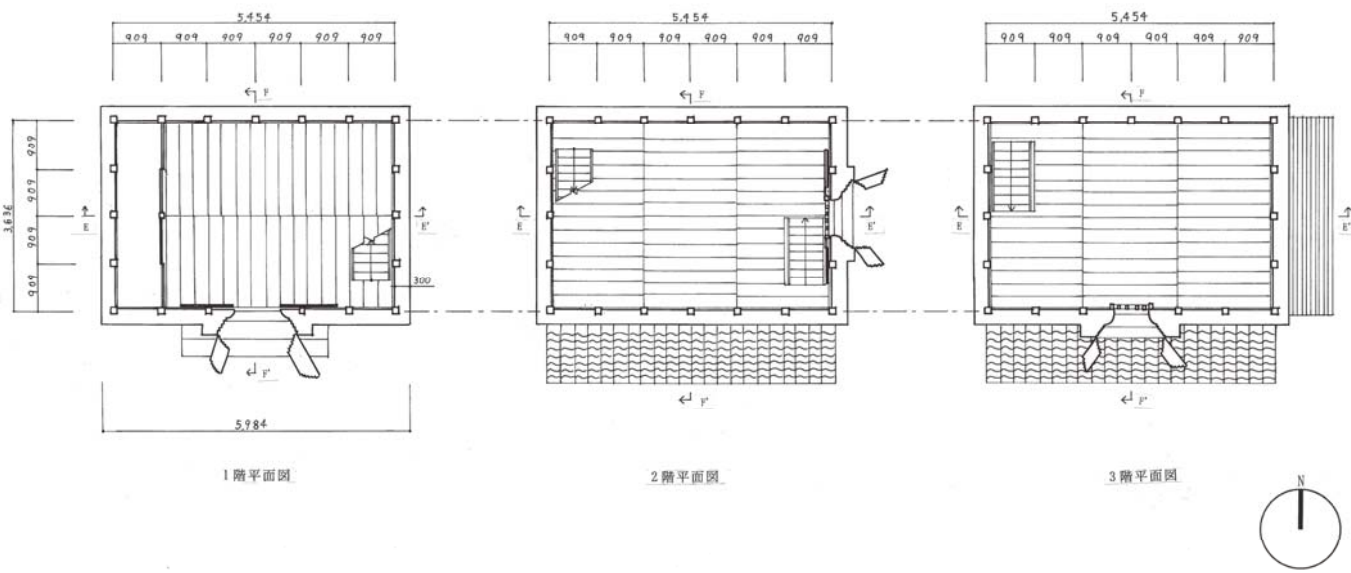
A line drawing of a house with a gabled roof covered in tiles. A chimney is located on the roof ridge. The house has a large window on the left and a door on the right with a small porch roof. A small triangle with the number '5' is shown near the roofline.

This architectural drawing shows the front elevation of a building. The roof is gabled and covered with a pattern of interlocking tiles. A small triangle on the left side of the roof indicates a 10-degree pitch. The main body of the building has horizontal siding and is divided into three vertical sections by thin lines. Each section contains a window: the leftmost is a small, single-pane window; the middle is a larger, six-pane window; and the rightmost is a medium-sized, six-pane window. To the right of the main building, there is a smaller section with a lower roof, also indicated with a 10-degree pitch triangle.

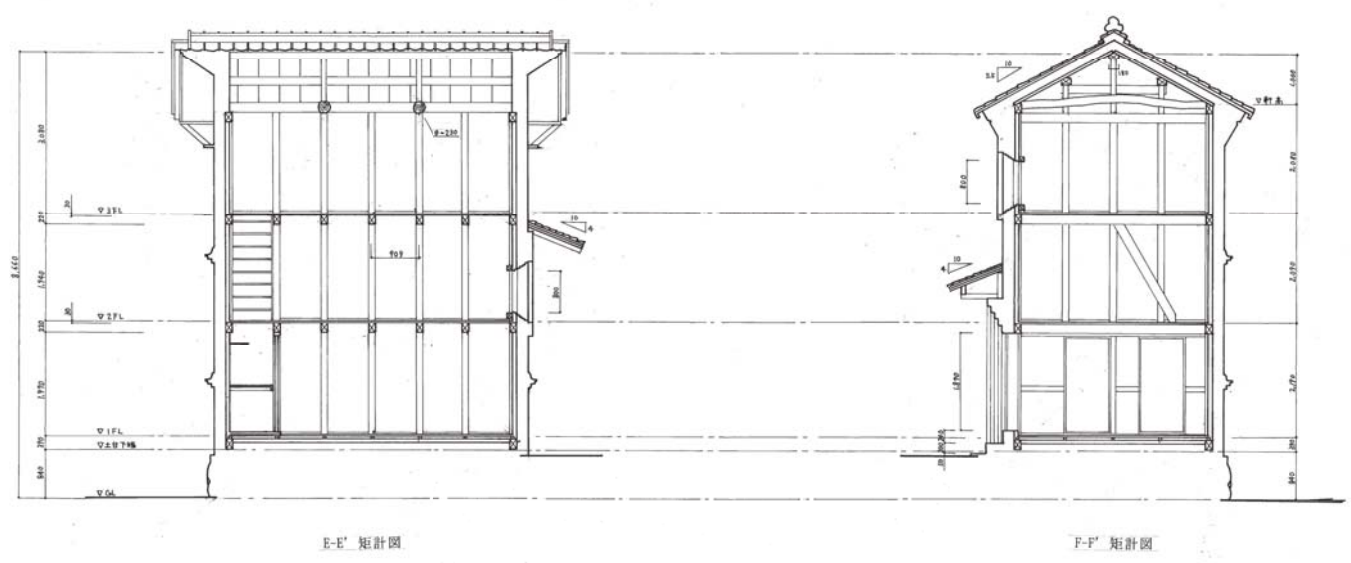
A line drawing of a house with a tiled roof. The roof has a small dormer with a window. The house has a central entrance with a door and a window, and a side entrance with a door and a window. The roof is labeled with a 10° slope and a 5' height.

東立面図

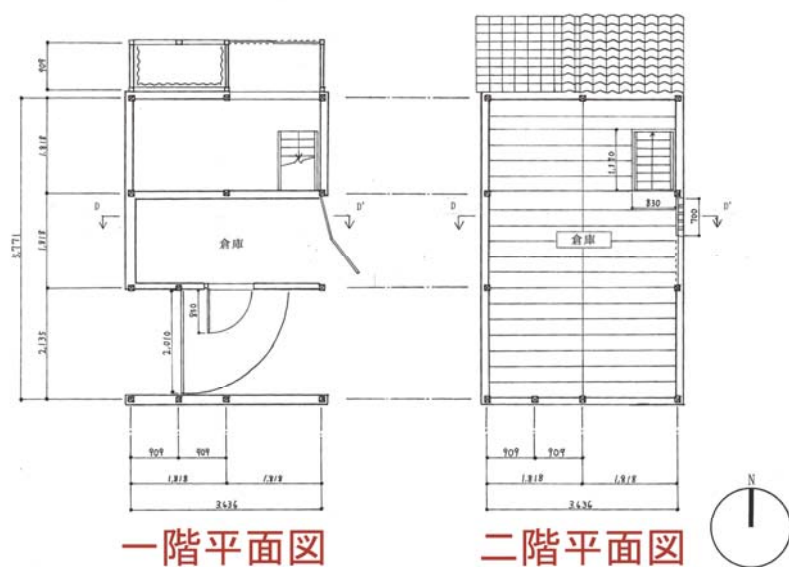
実測図面：北西土蔵 平面図



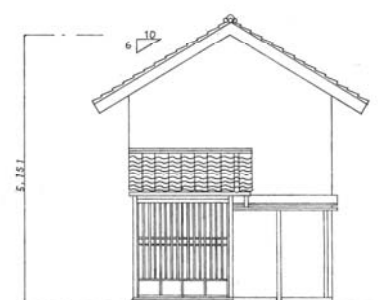
実測図面：北西土蔵 断面図



実測図面：門土蔵

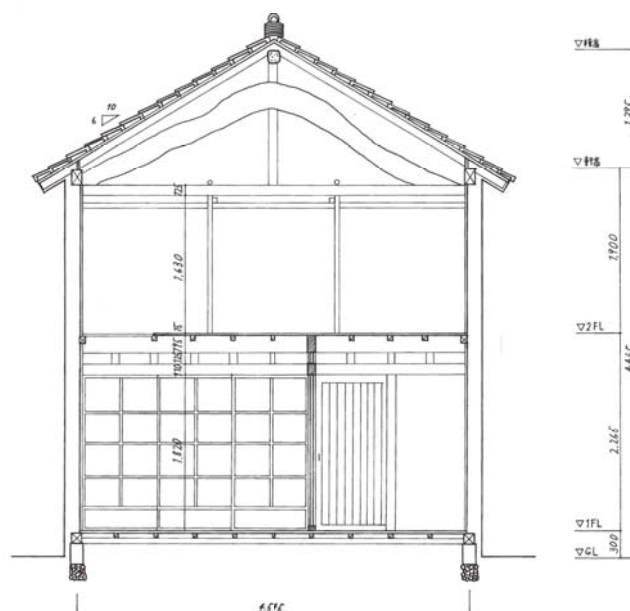
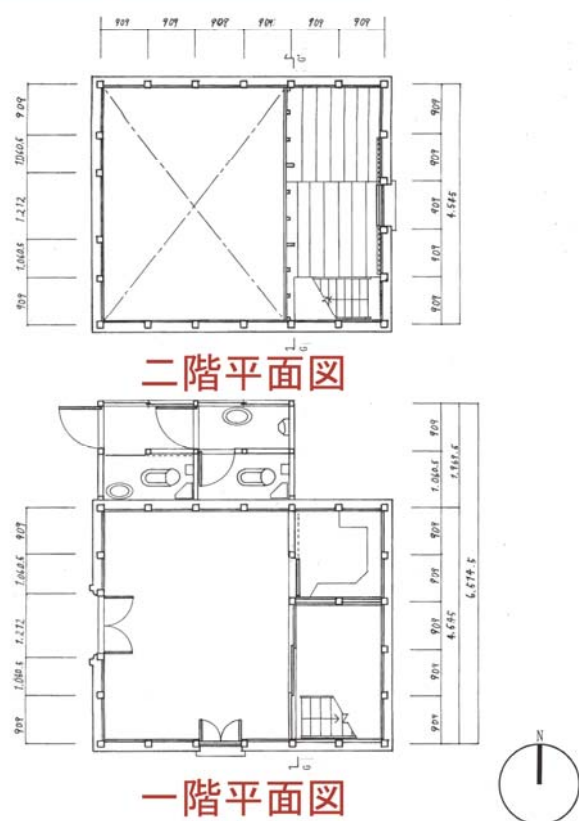


断面図



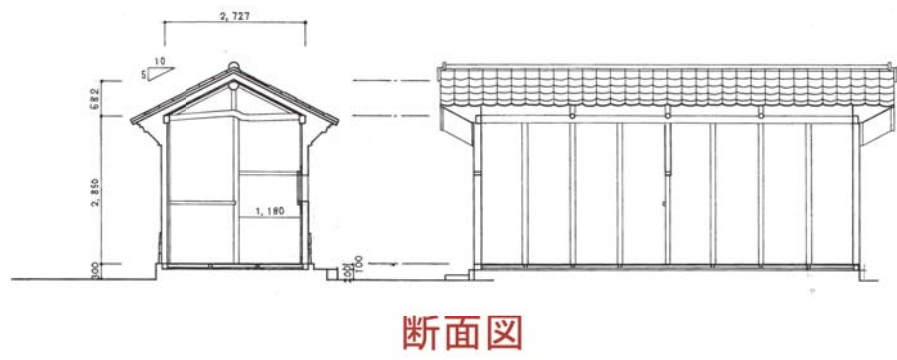
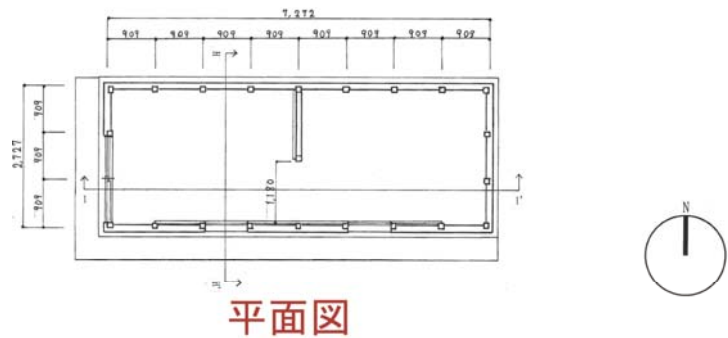
北立面図

実測図面：物置



断面図

実測図面：雑蔵



住み継ぐ

信州大学工学部 糸井 梓



Concept コンセプト

地域の子どもたちにとって地域とは――。

地域の子どもたちが地域の大人から伝統文化を教えてもらうことで地域のことを知り須坂を魅力ある街として発信する。

もともとある歴史的価値のある建物に新しく近代的な要素を取り入れることで歴史をより感じさせる民家へと再生される。

Site 対象敷地



国の有形文化財

街道

小学生や高校生が
多く通る

上高井保育園

幼稚園

対象敷地

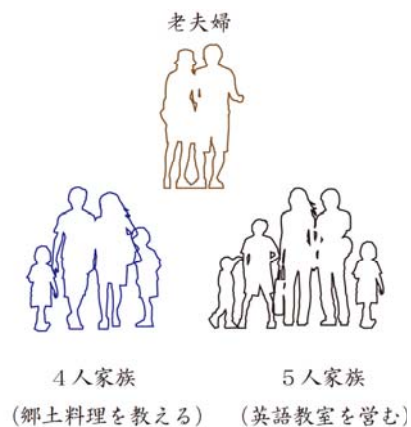
須坂小学校



Program プログラム

1

三世代が住む集合住宅



2

地域の子どもたちに

開かれた場所

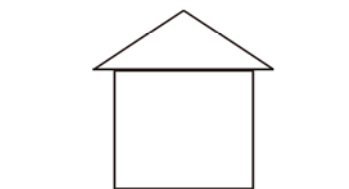
英語教室

郷土料理教室

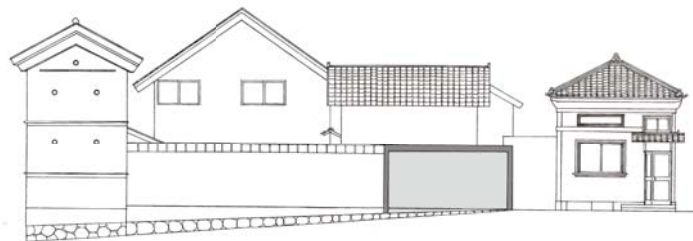
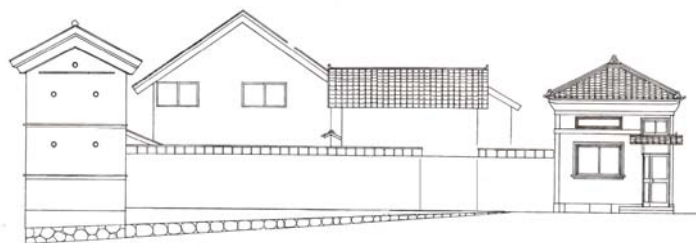
子どもアクティビティ
スペース

3

何年たっても住み継がれる家

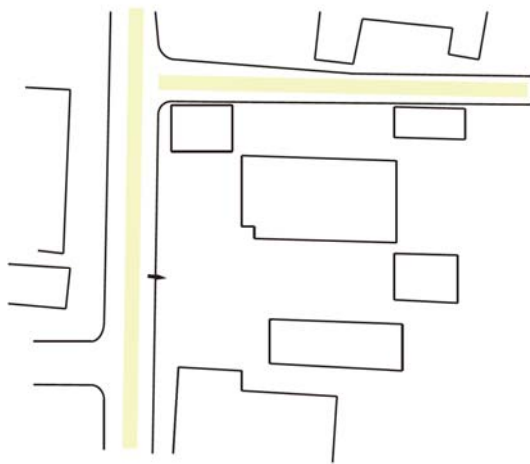


三世帯が住む住宅だが
共有の土間空間を通して各部屋へ広がる。
そこに一定の時間住む人がいなくなっても
ゲストハウスとして貸出が可能。

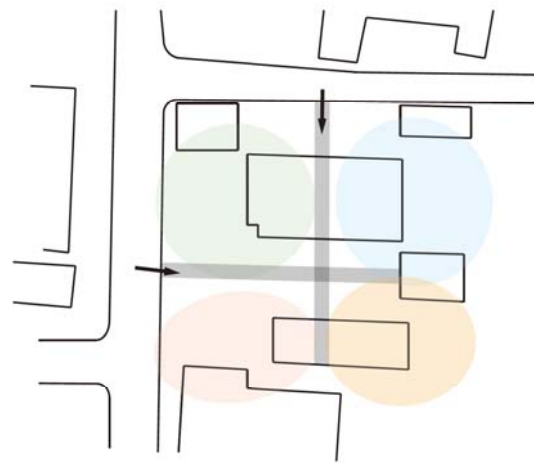


ぼたもち石積みや土蔵、築地塀から
受け継がれる伝統の風情が感じられる。

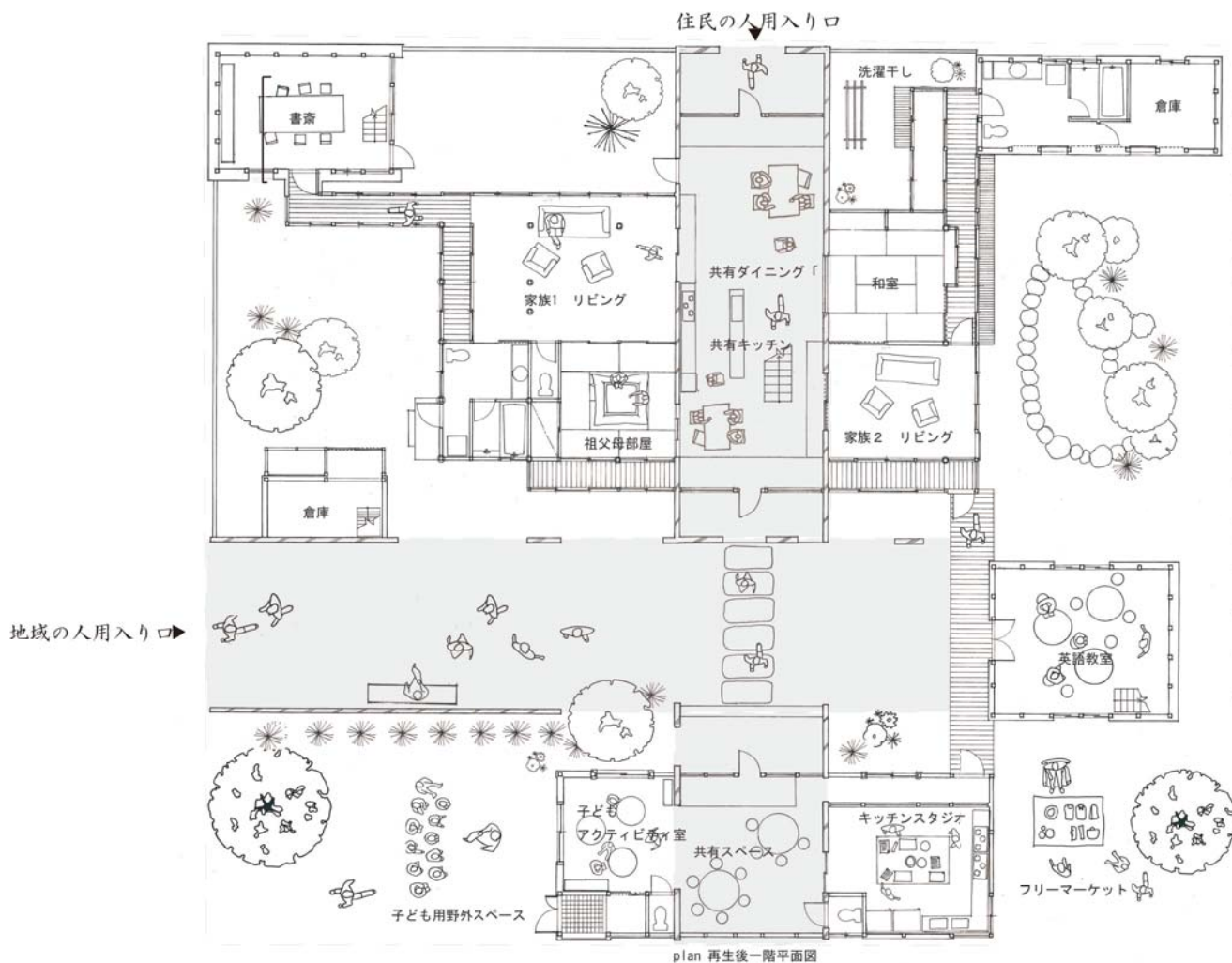
伝統的な要素を残しながらも
人の出入りする門を新しい素材で大きく開く。



北と西に位置する道路は
学生の通学路となっている



北と西からの
新しい動線によって機能が4分割される
大きなボリュームから個々の部屋にわかれていく



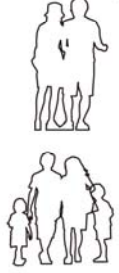
plan 再生後一階平面図

1 階平面図

住民の人用入り口

老夫婦+4人家族用

住宅空間



5人家族用

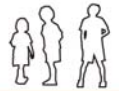
住宅空間



地域の人用入り口

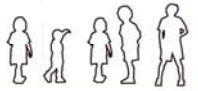
子どもたちのための

空間



英語教室

郷土料理教室



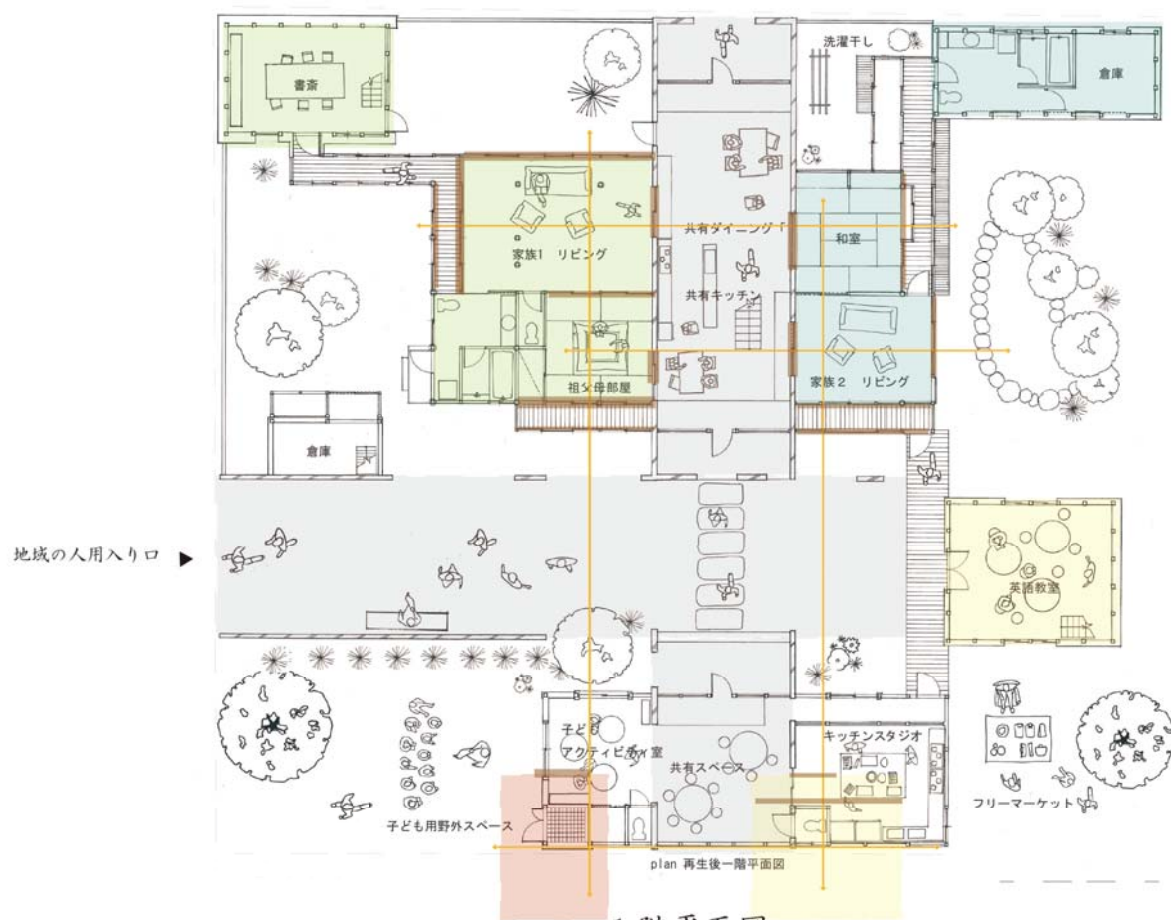
plan 再生後一階平面図

1階平面図

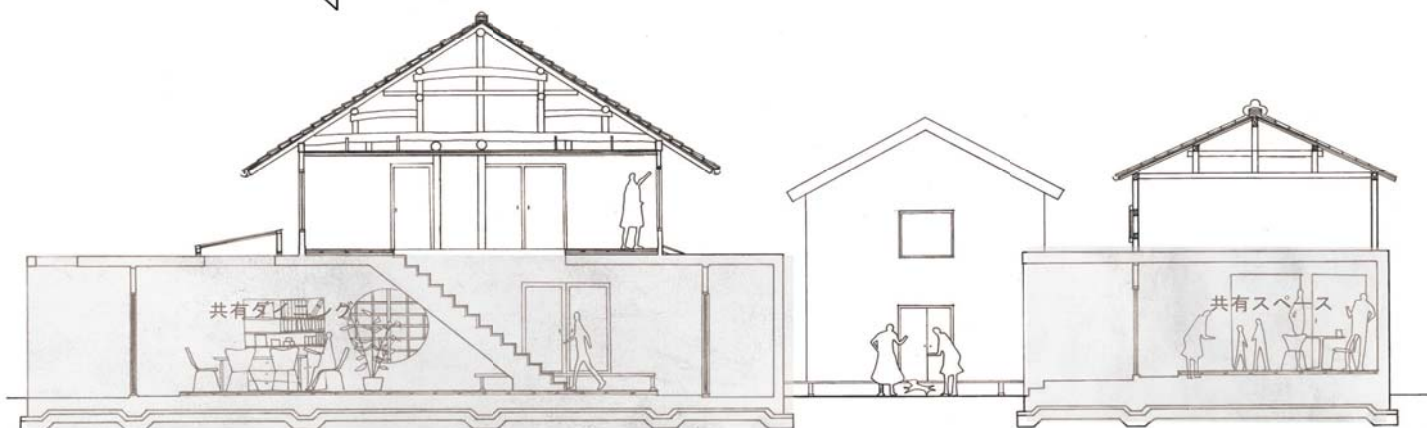
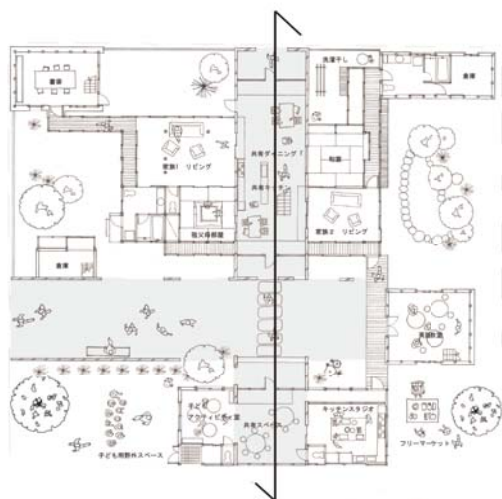
地域に開かれた空間



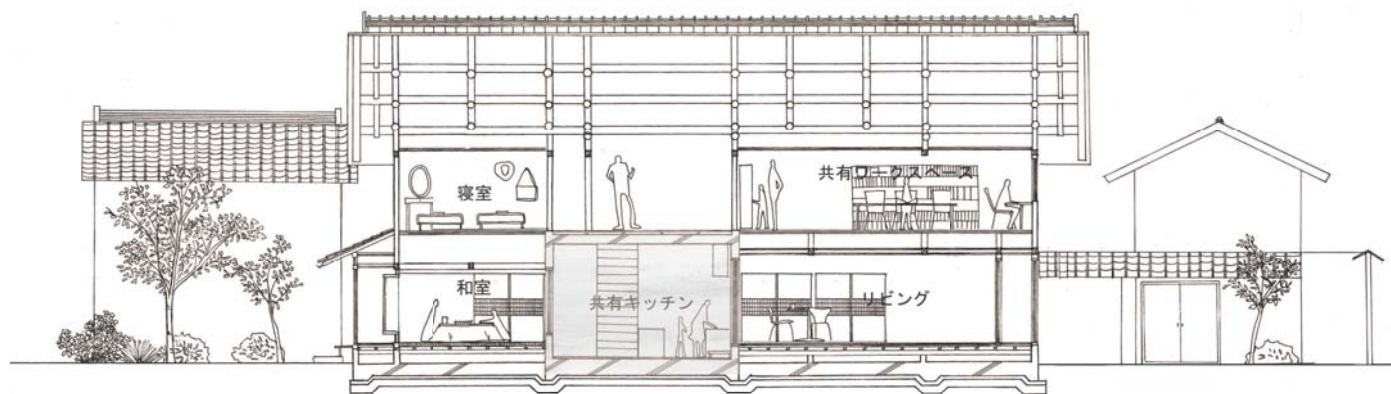
視線の抜け



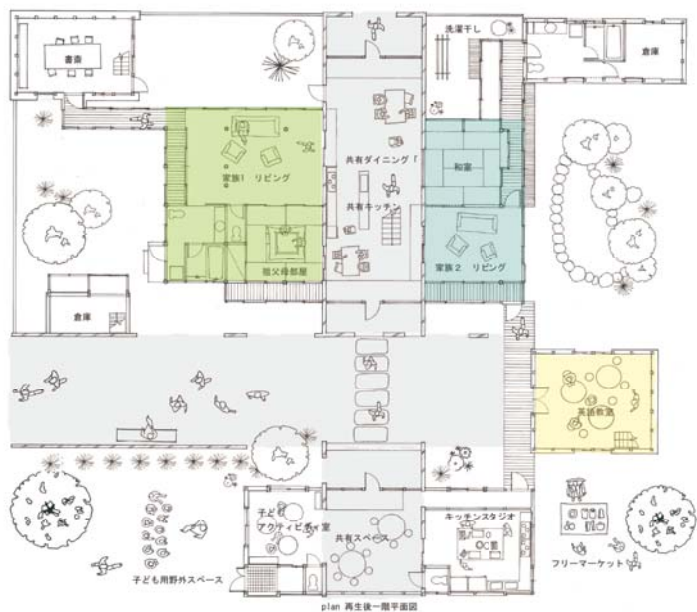
1 階平面図



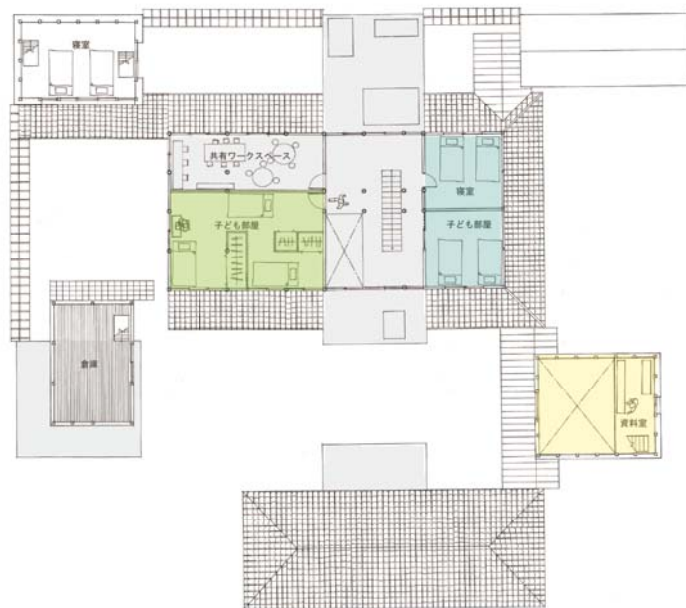
断面図



断面図



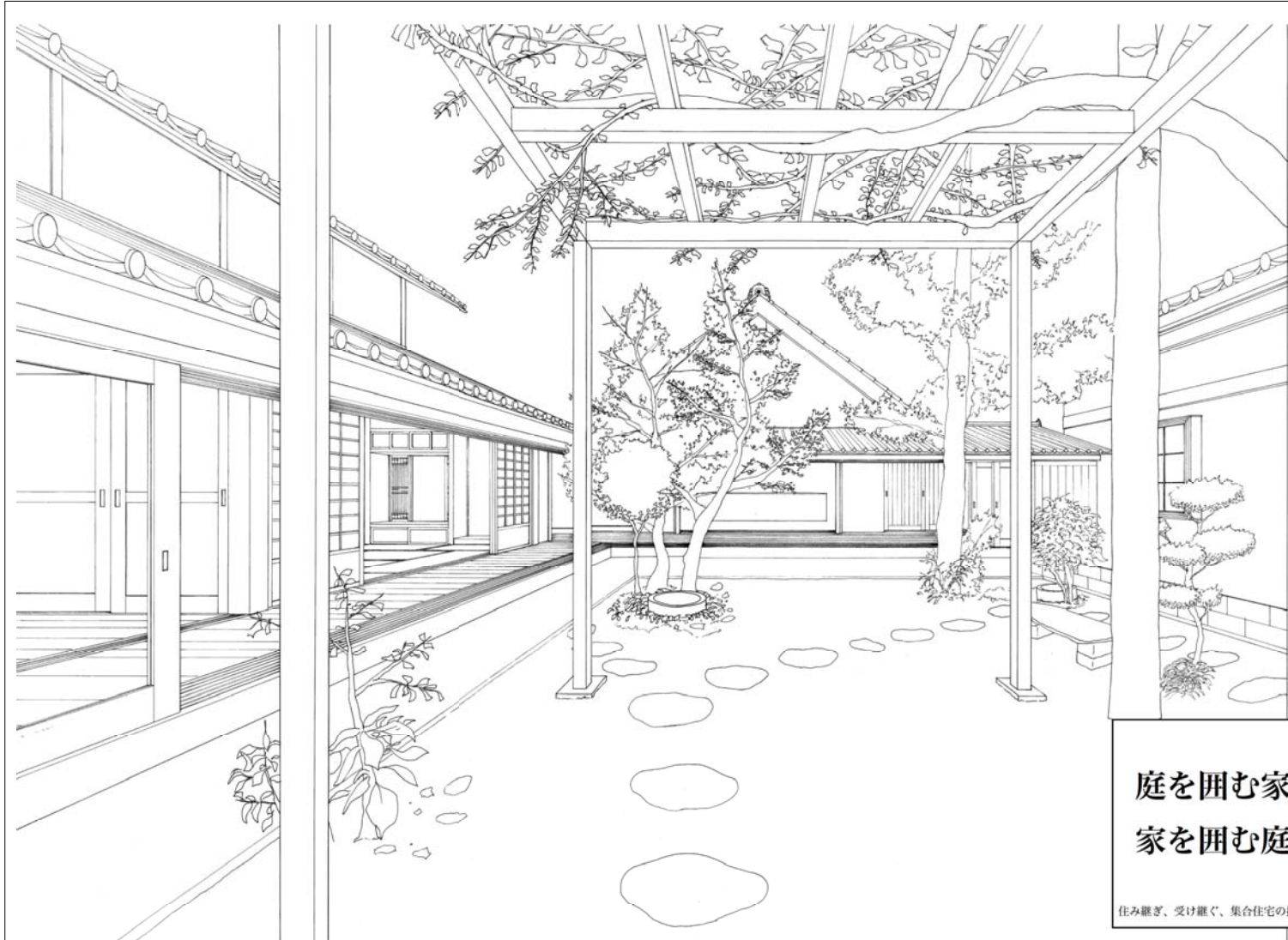
1階平面図



2階平面図

三世代が住み、
地域の子どもたちに関かれた空間。
何年たっても住み継がれる家。



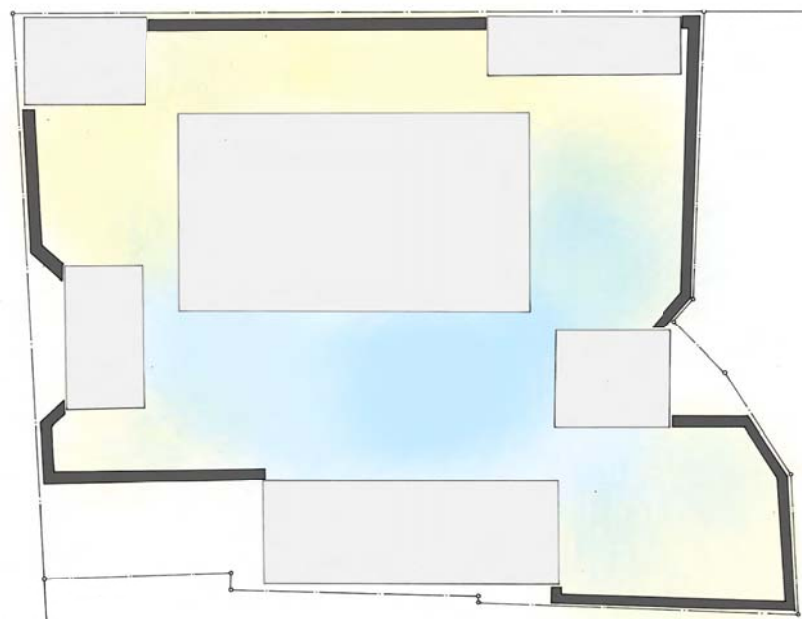


庭を開む家、
家を開む庭。

住み継ぎ、受け継ぐ、集合住宅の提案。



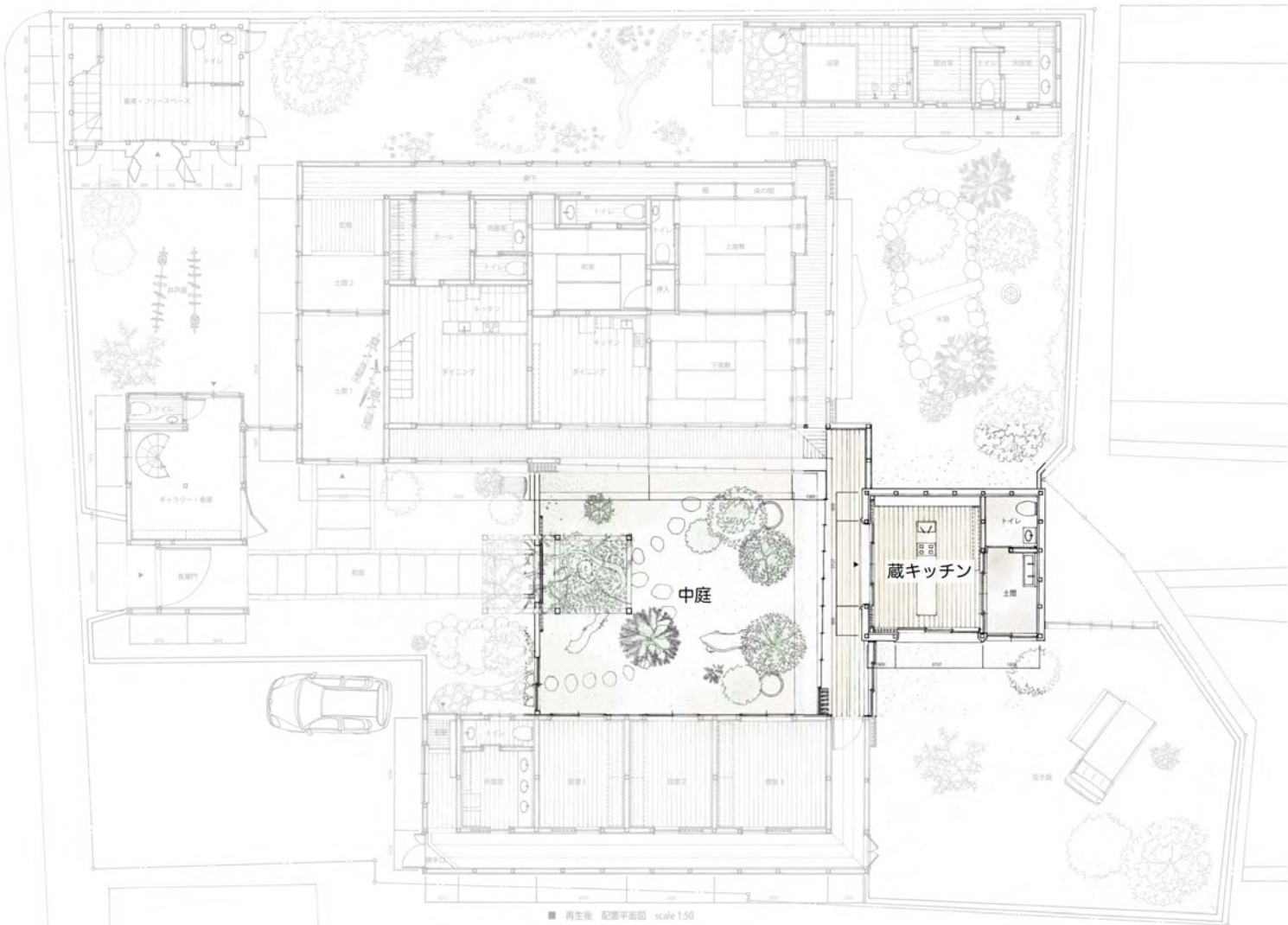
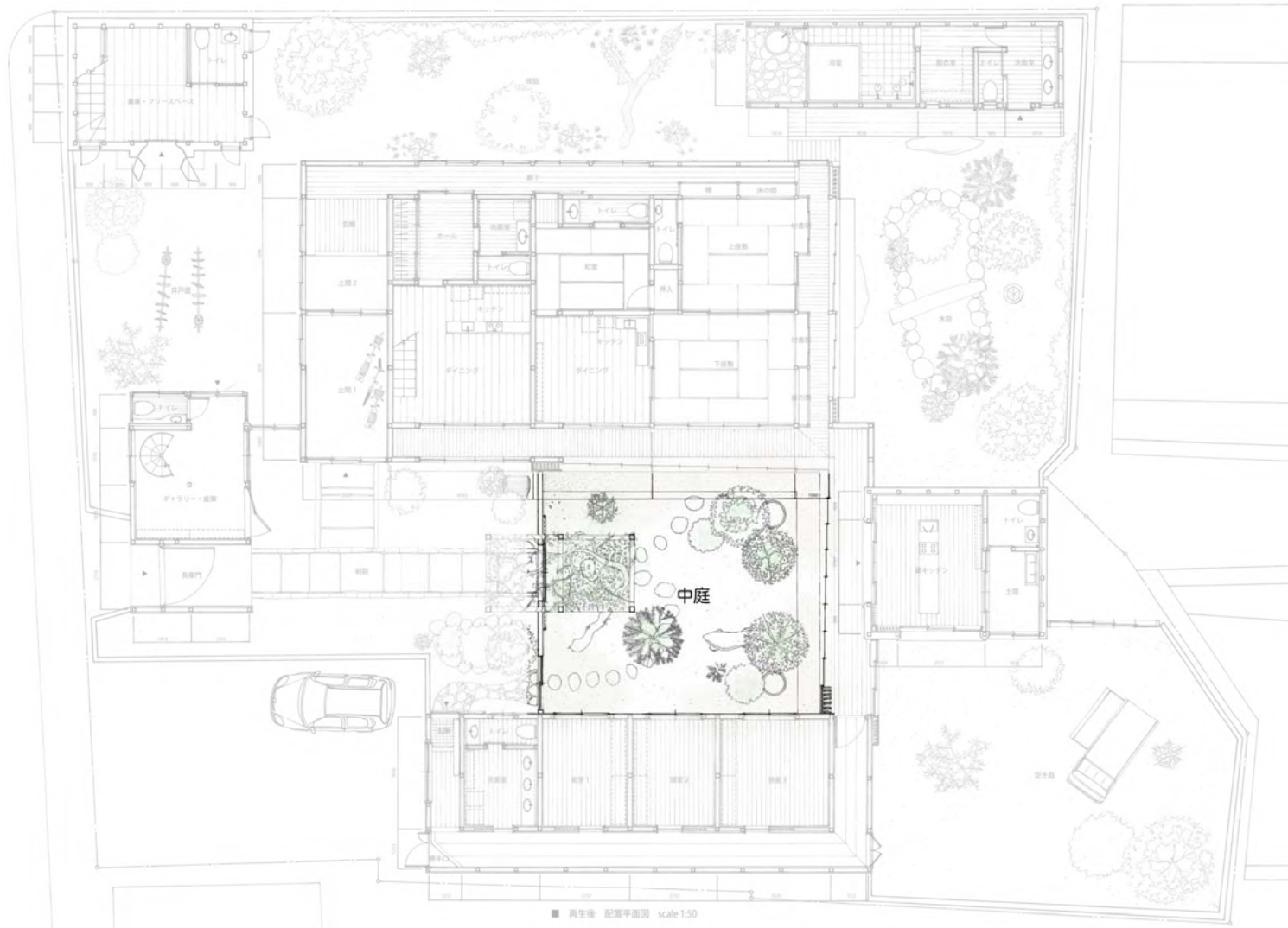


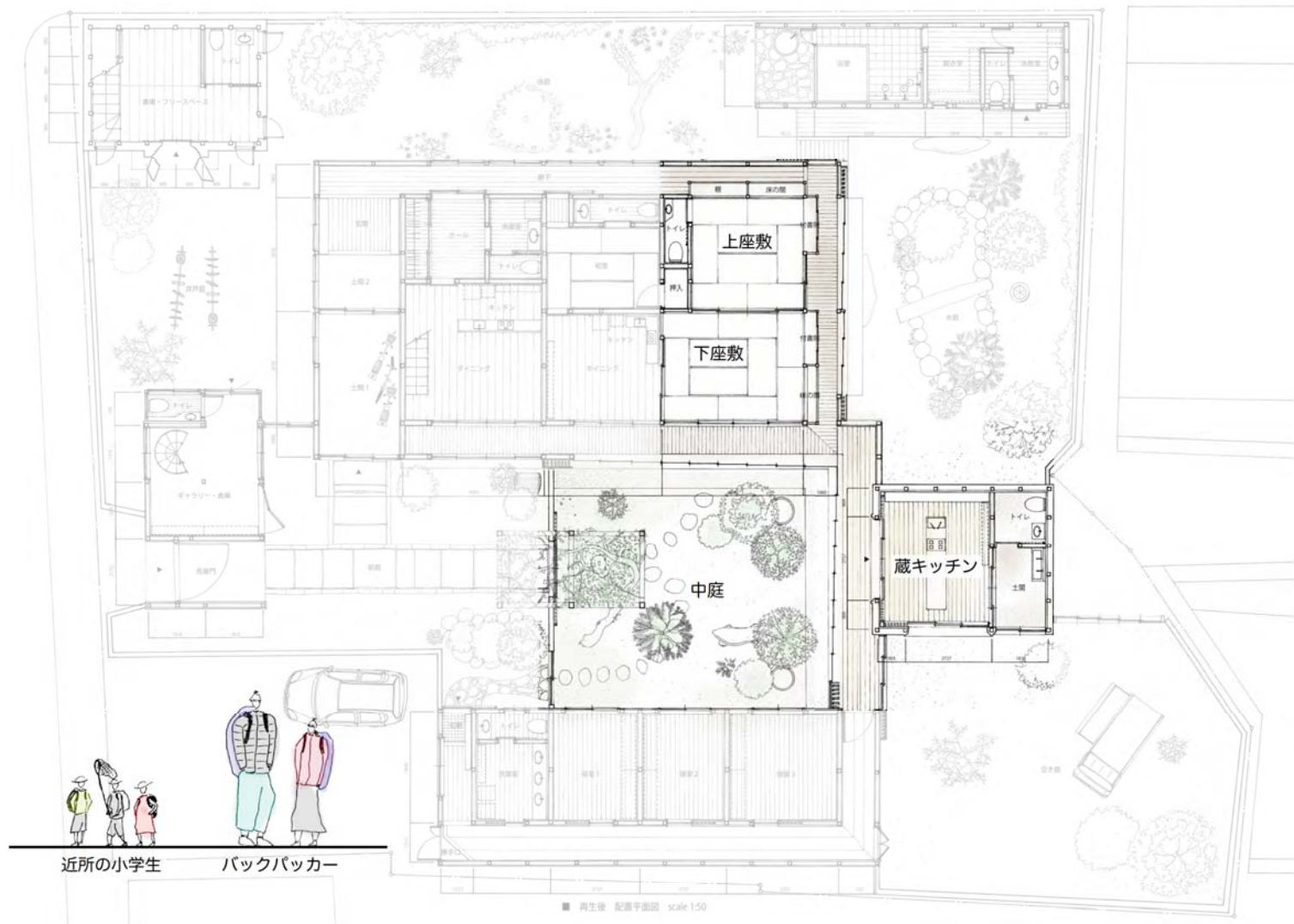


個人のための空間



地域に開かれた空間





パン屋 ももふくふく

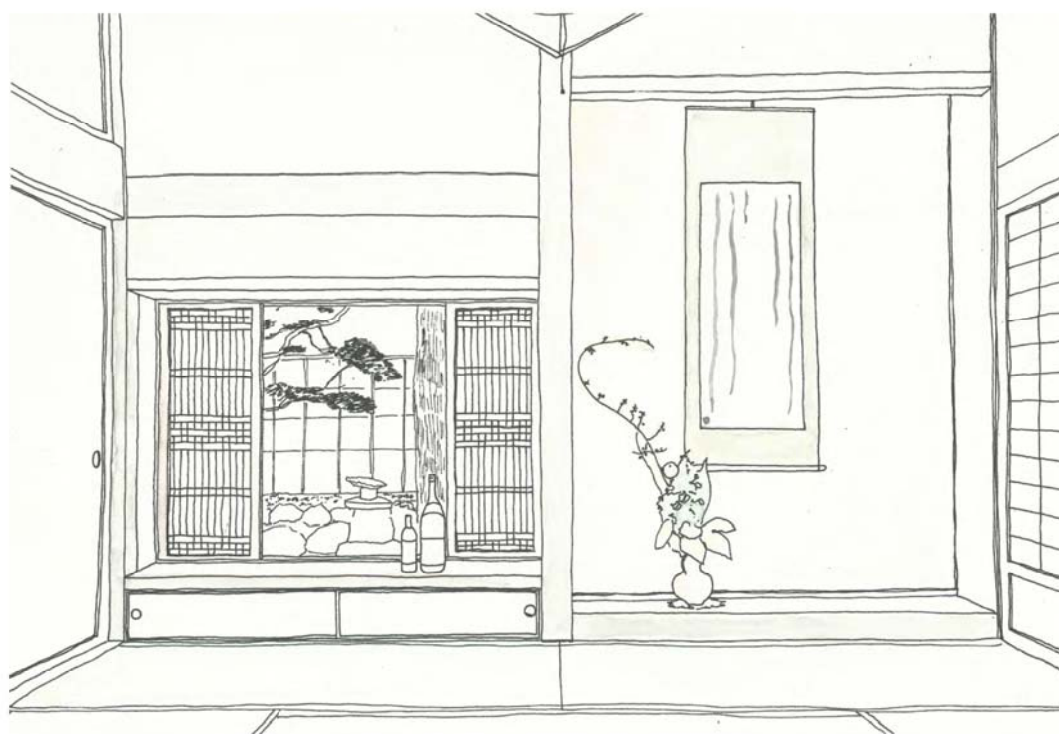
胡蝶庵
蝶の民族館

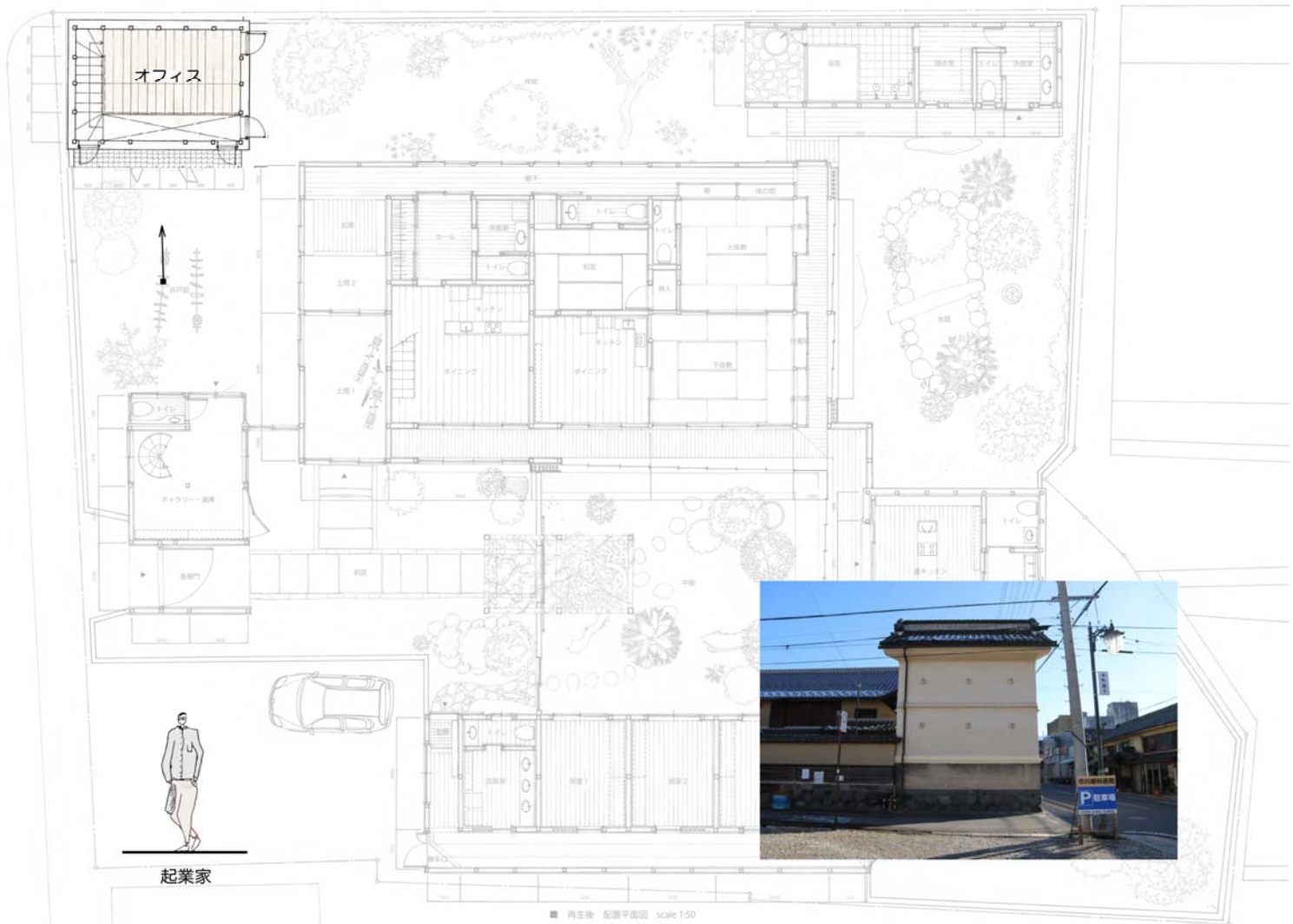
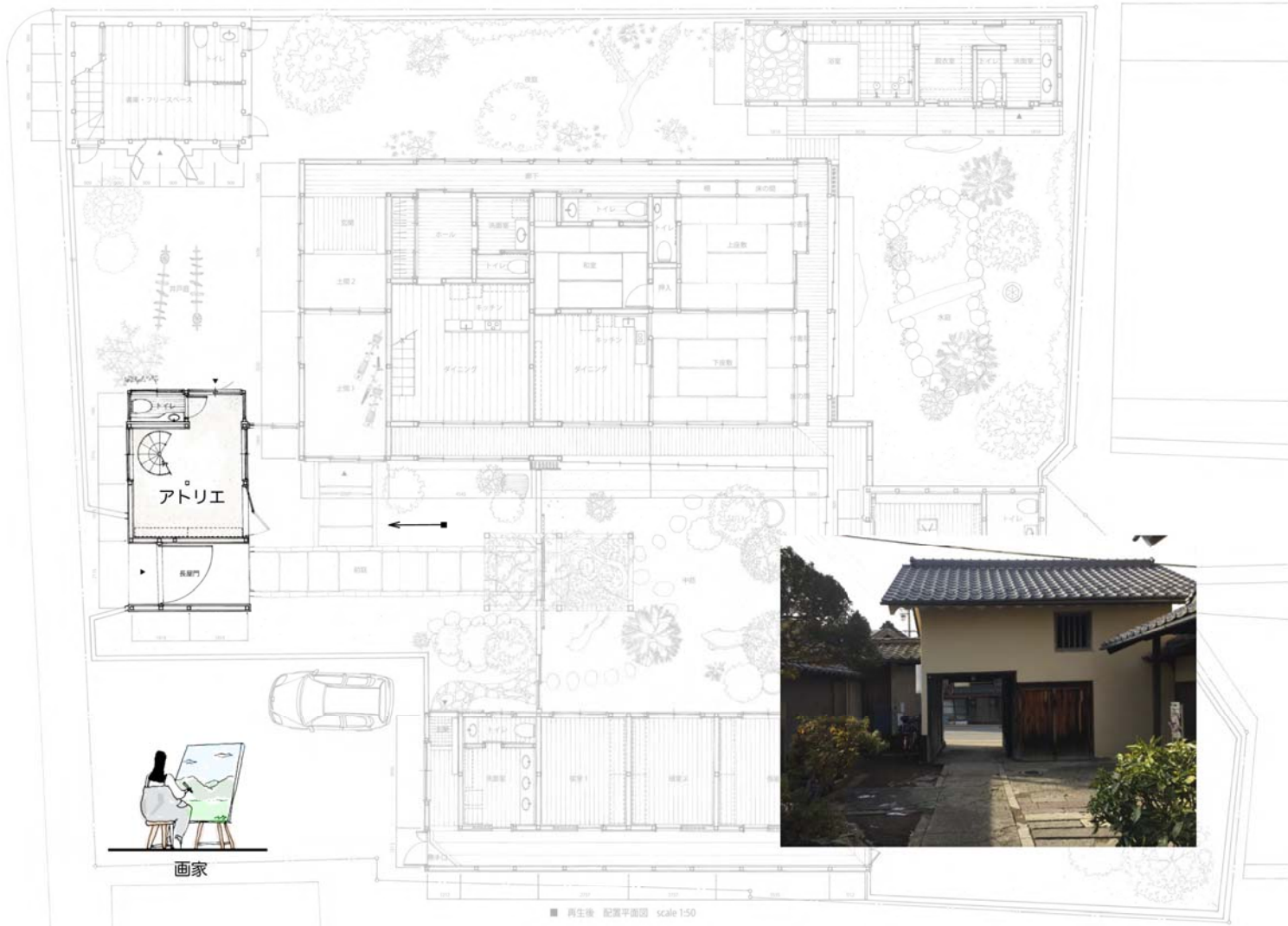
ゲストハウス蔵
cafe ラビラント

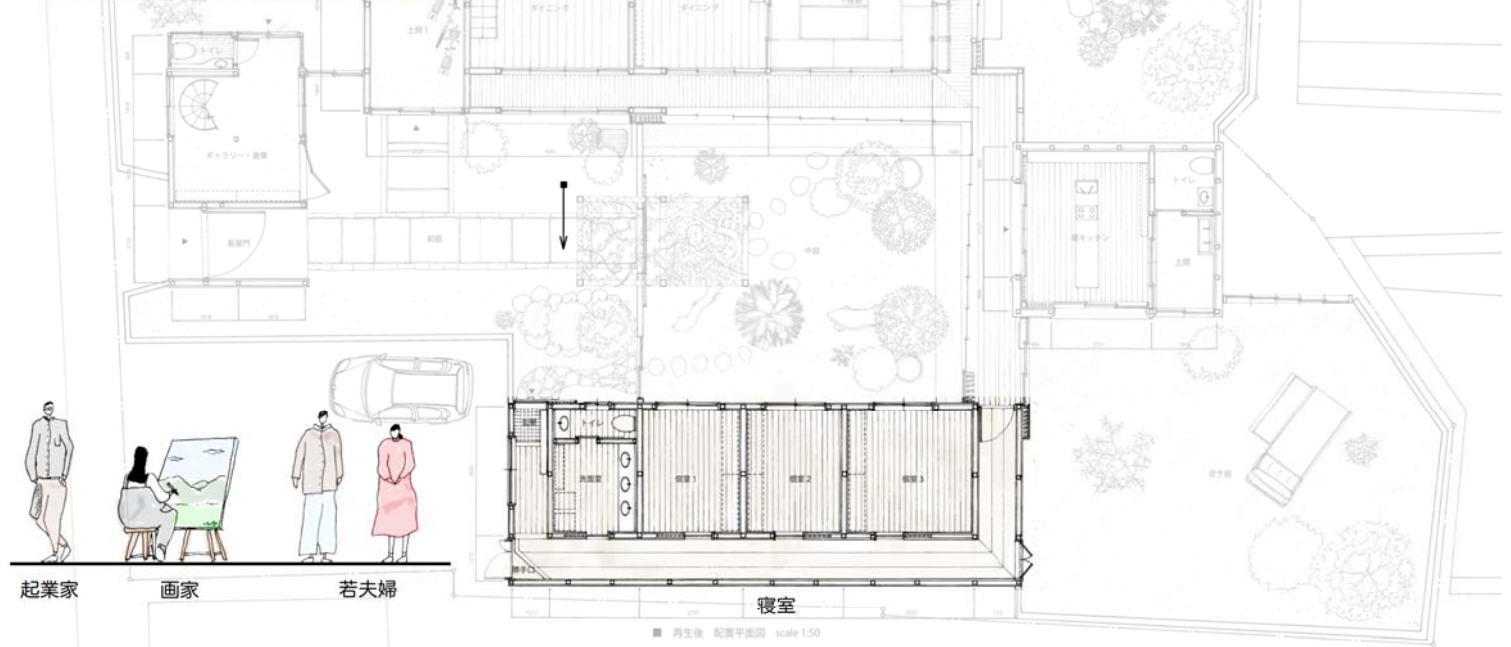
個人商店

バックパッカー

小学生







起業家

画家

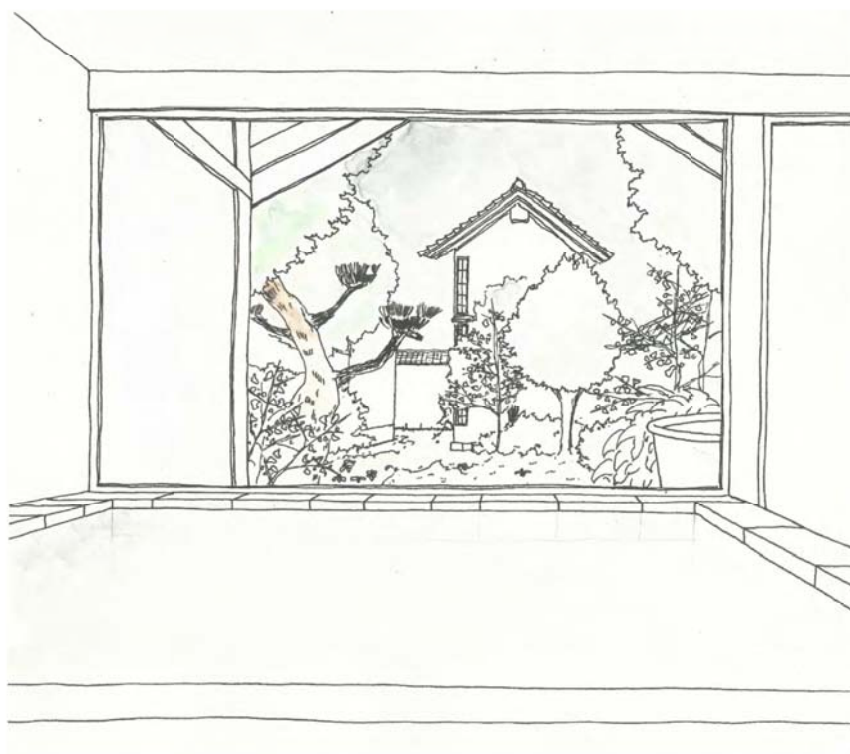
若夫婦

寝室

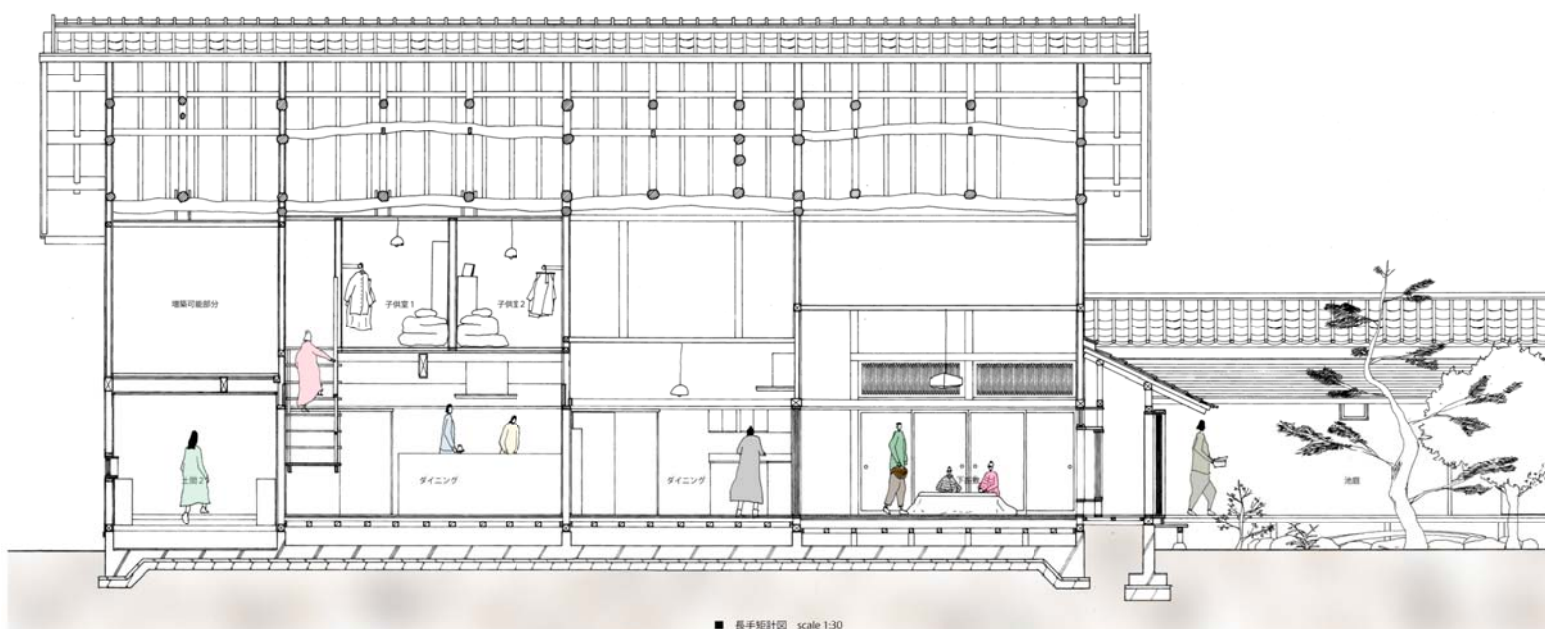


湯堂

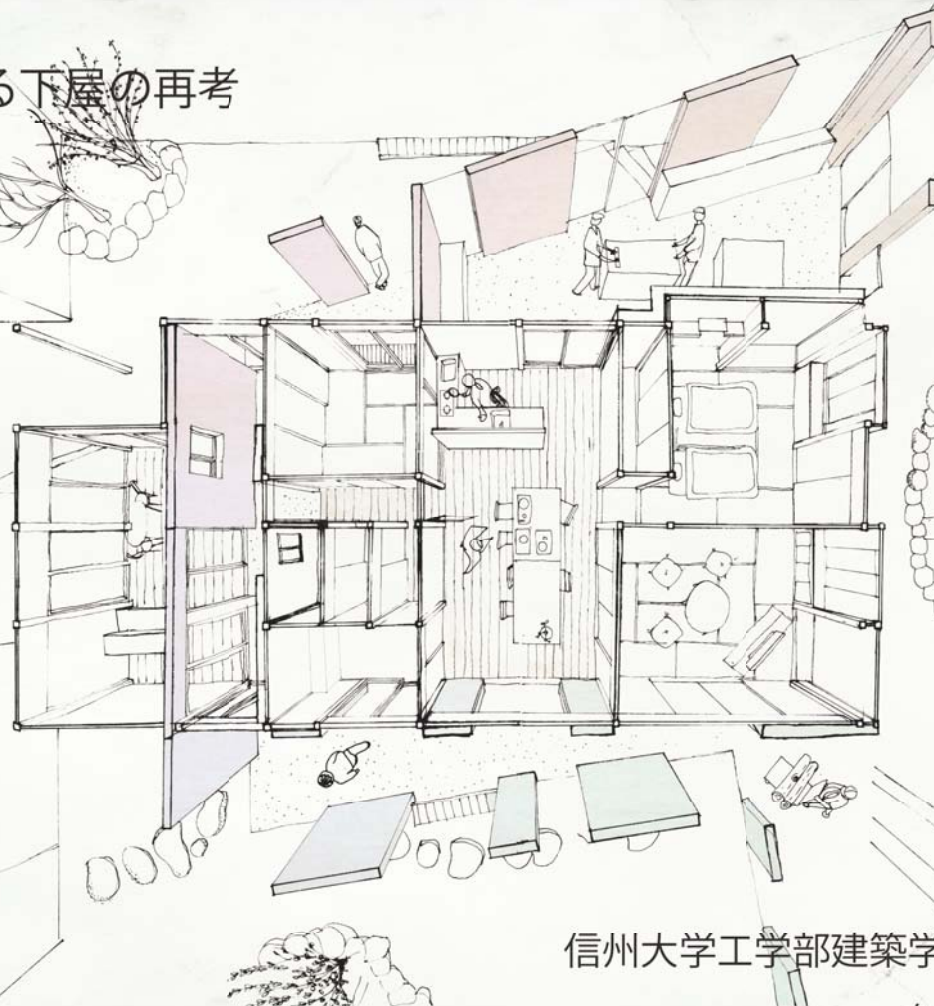




ご静聴ありがとうございました。



斜めによる下屋の再考



信州大学工学部建築学科

奥村 拓実

須坂市の歴史背景と現在

須坂市は、かつて製糸業として栄えていた町であった。



美し風景を残す表の顔と空き家の増えた裏の顔

提案

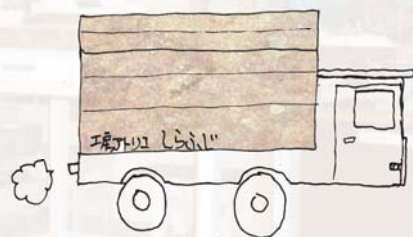
古い建物の解体によって出る古材を用いて物作りをする体験型工房
を有する地域密着型の集合住宅

解体

回収

再構築・販売

提供



かつてあったものや、文化を掬い上げて、再構築し、新しい形で、後世へと継いでいく。

家族構成

世帯1



世帯2

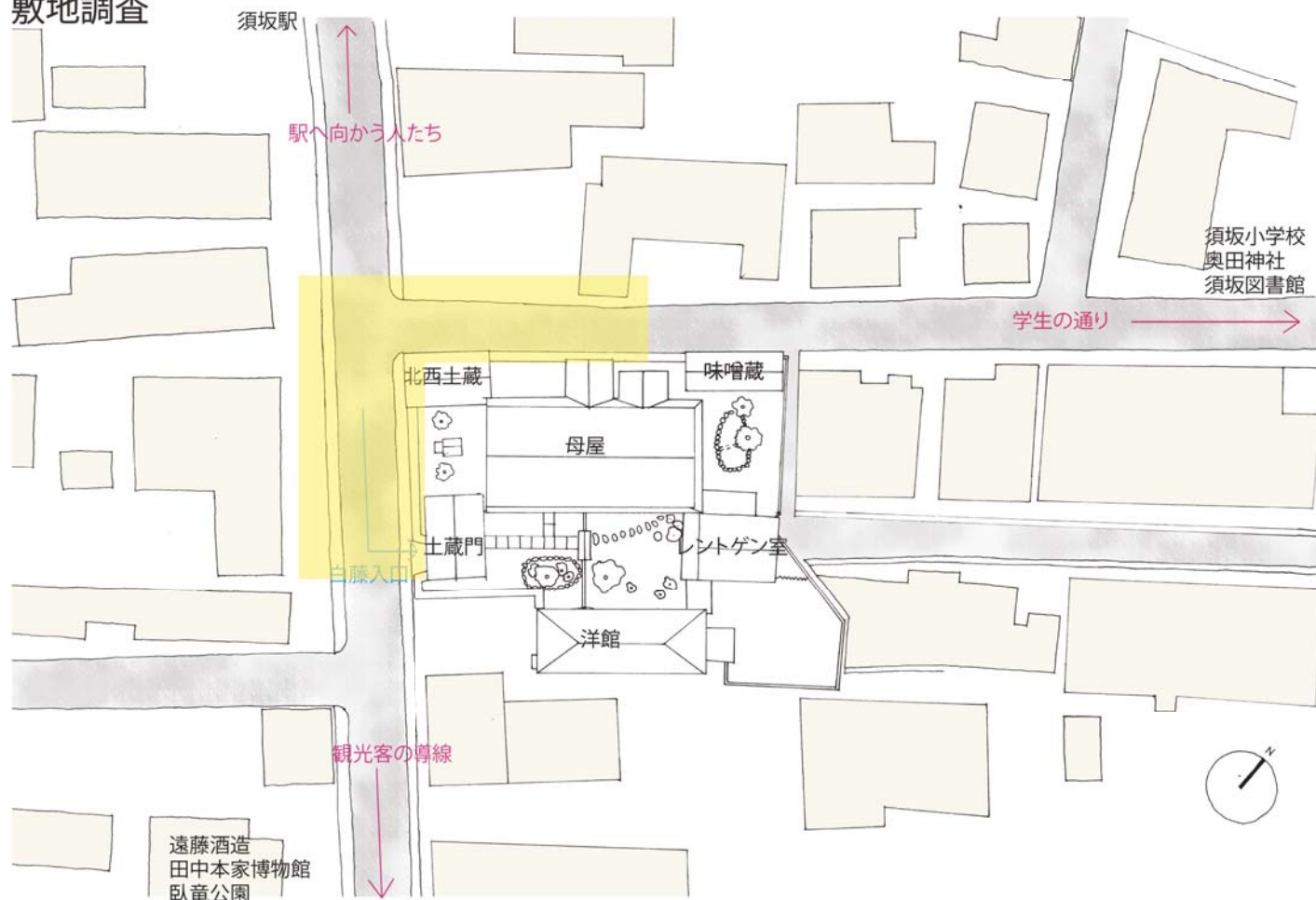


世帯3

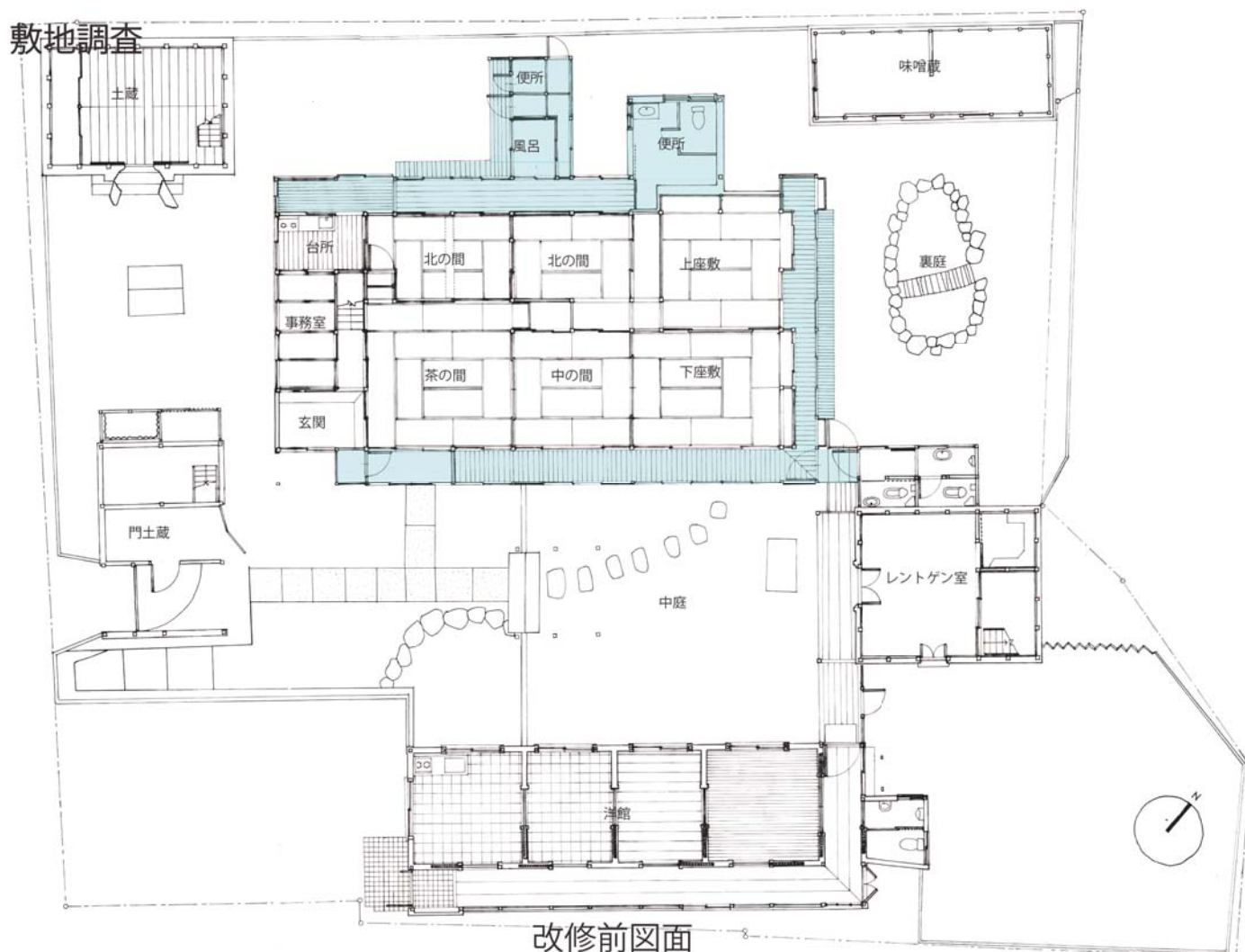


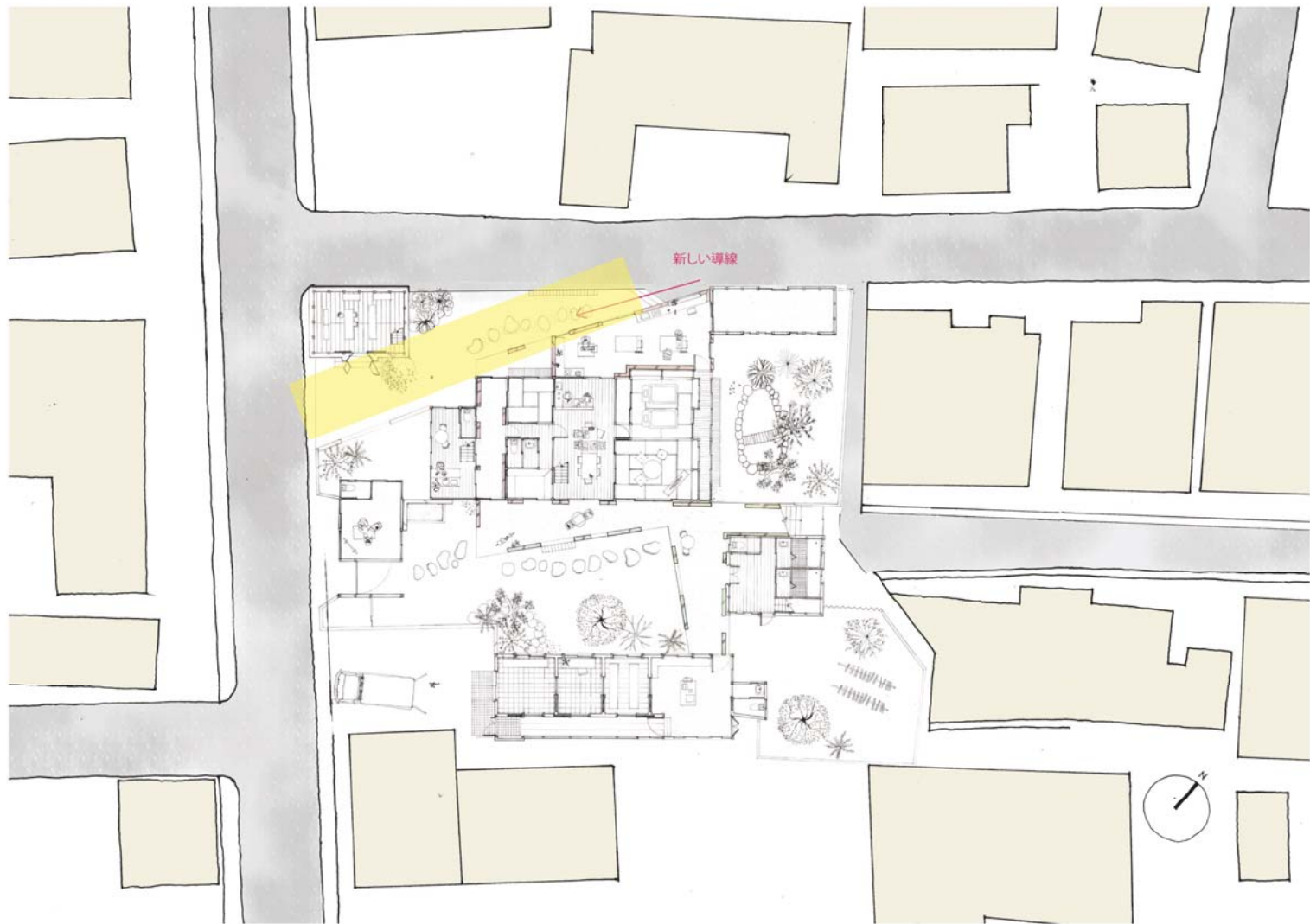
近年軽薄になりがちな、お隣さんとの関係を解消すべく、工房と一体の集合住宅とする

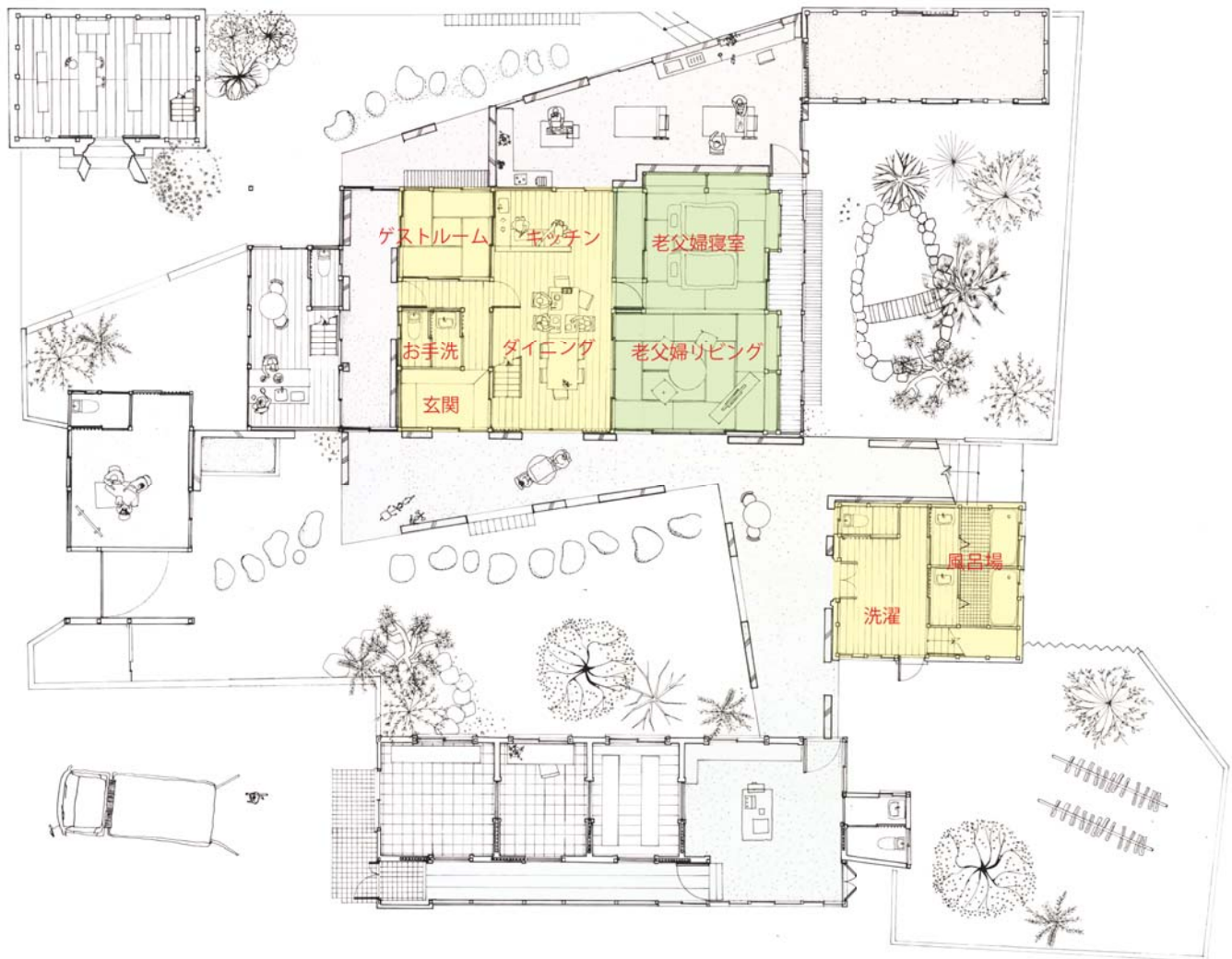
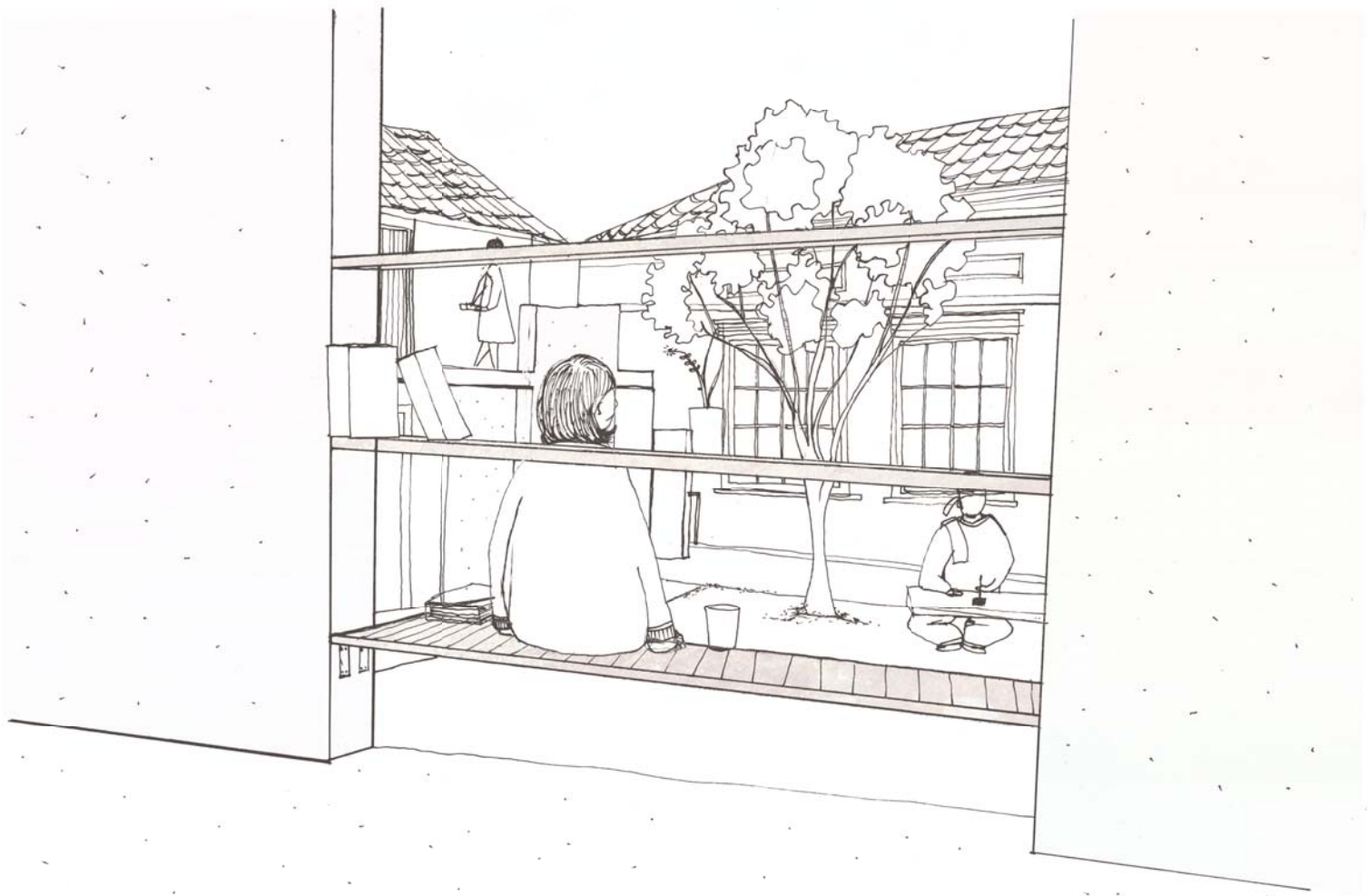
敷地調査

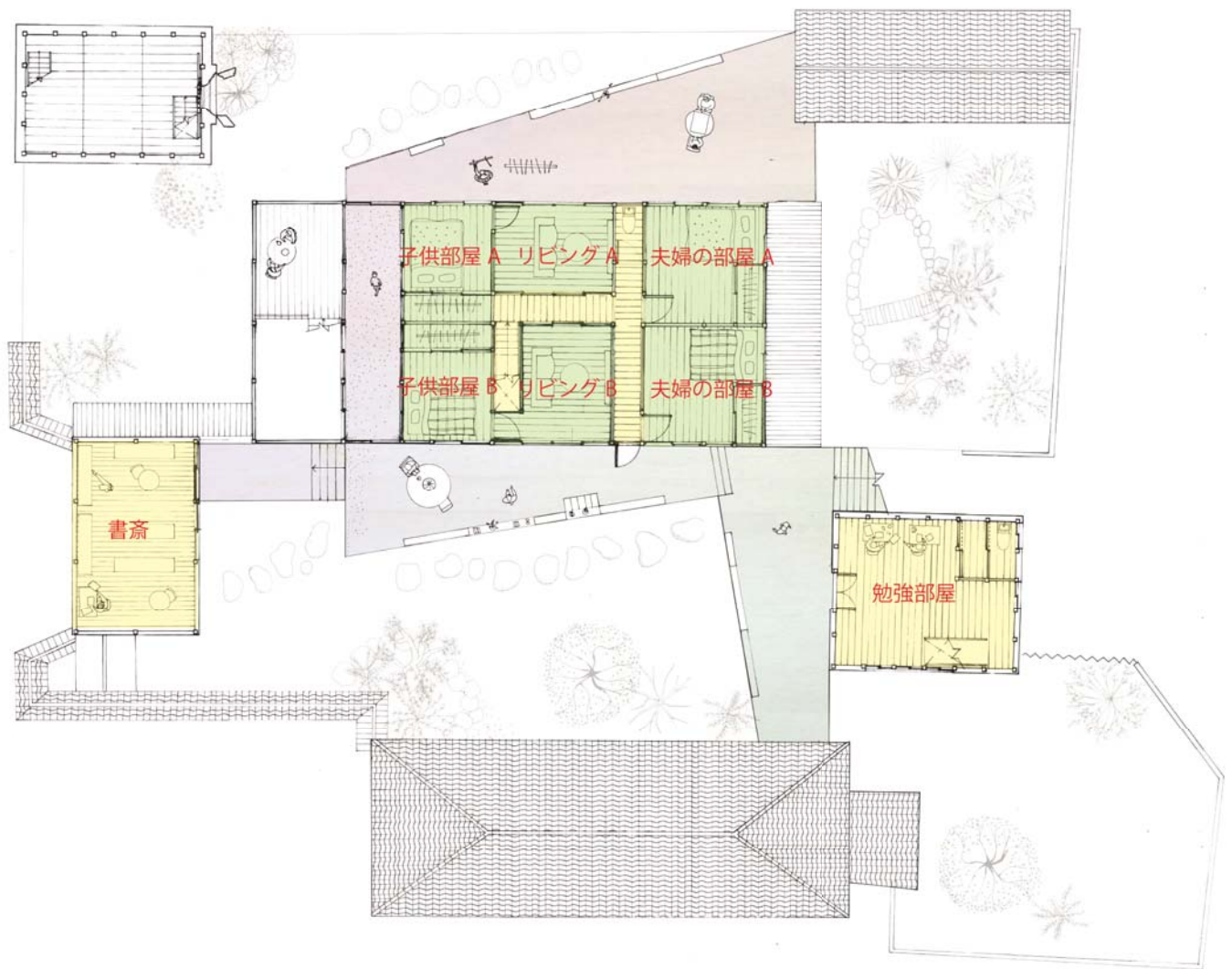


敷地調査

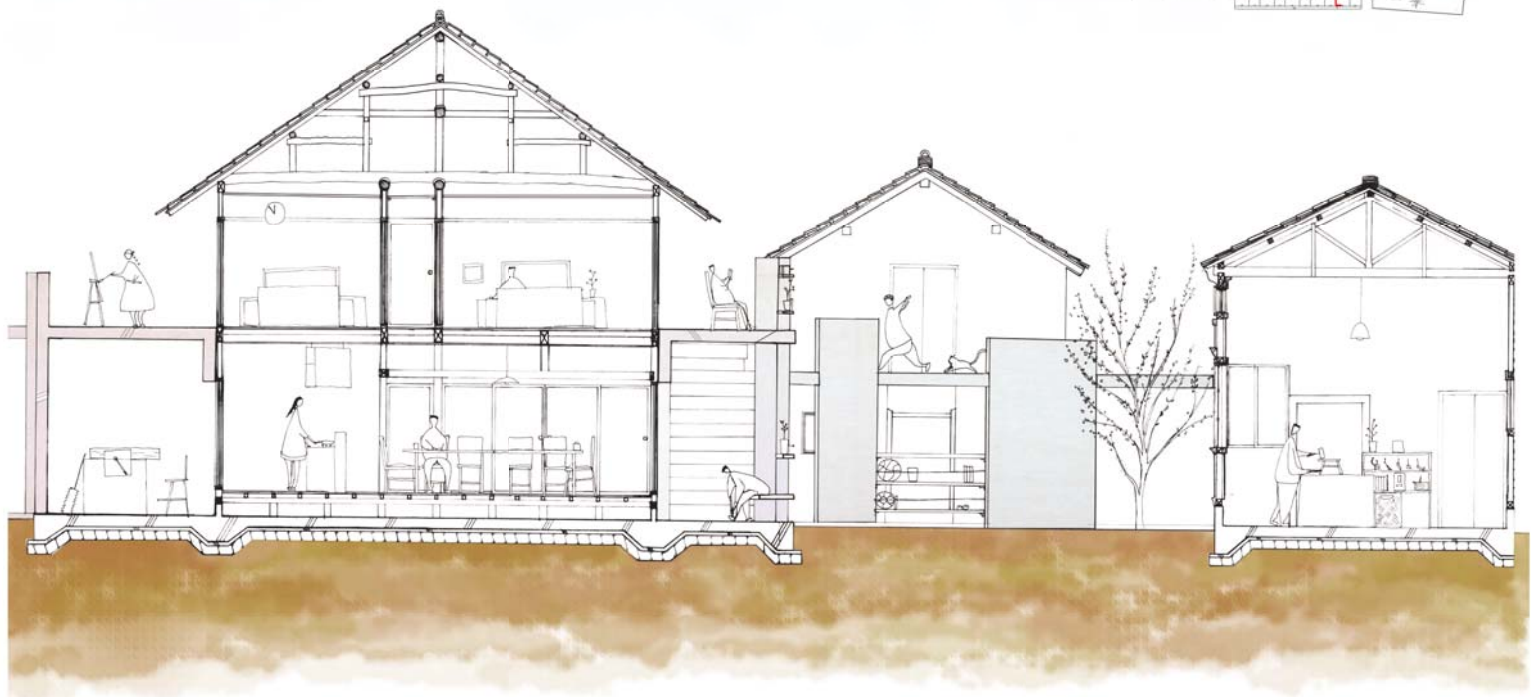
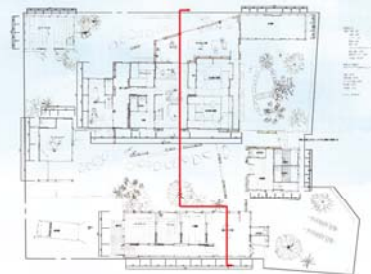




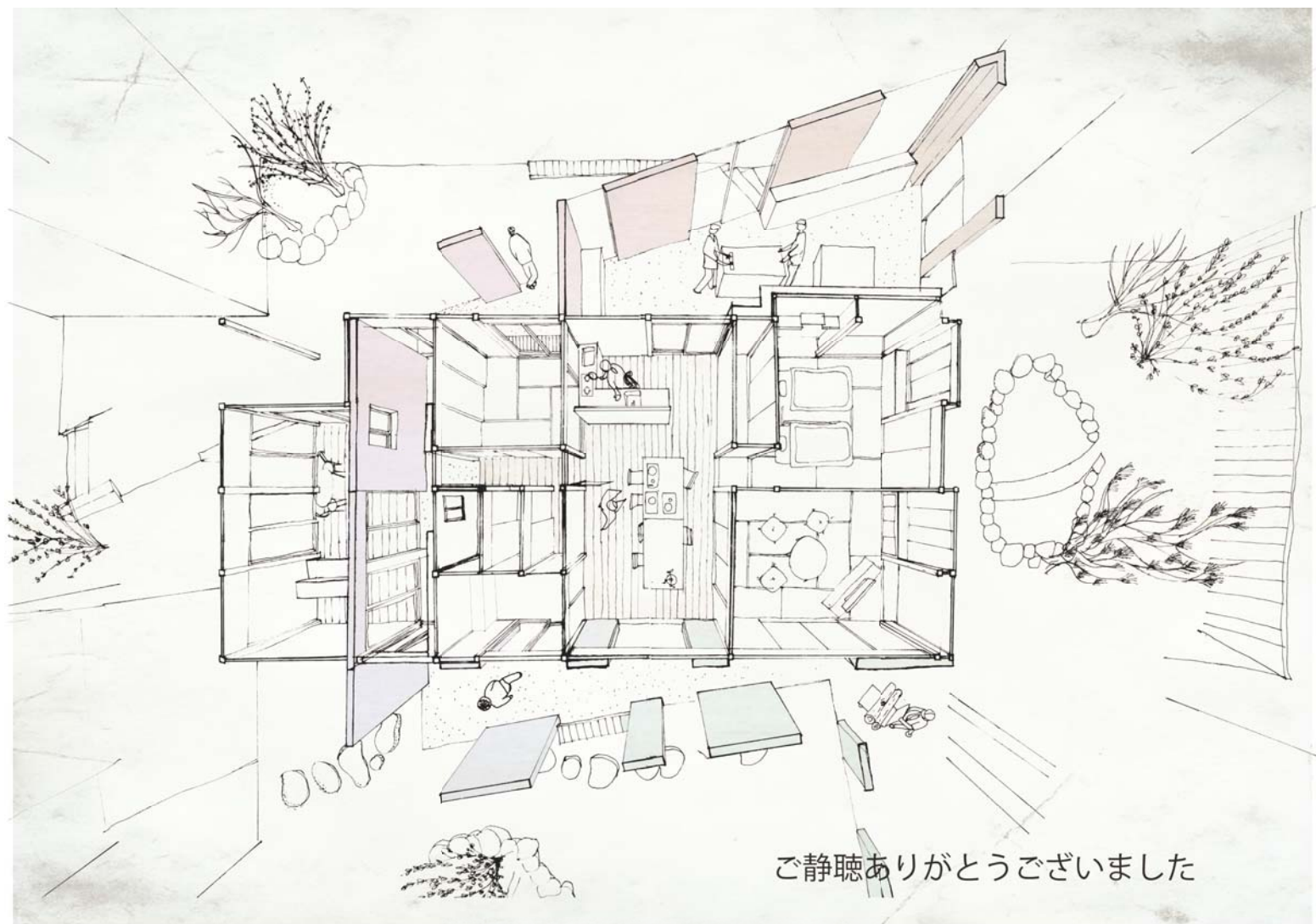
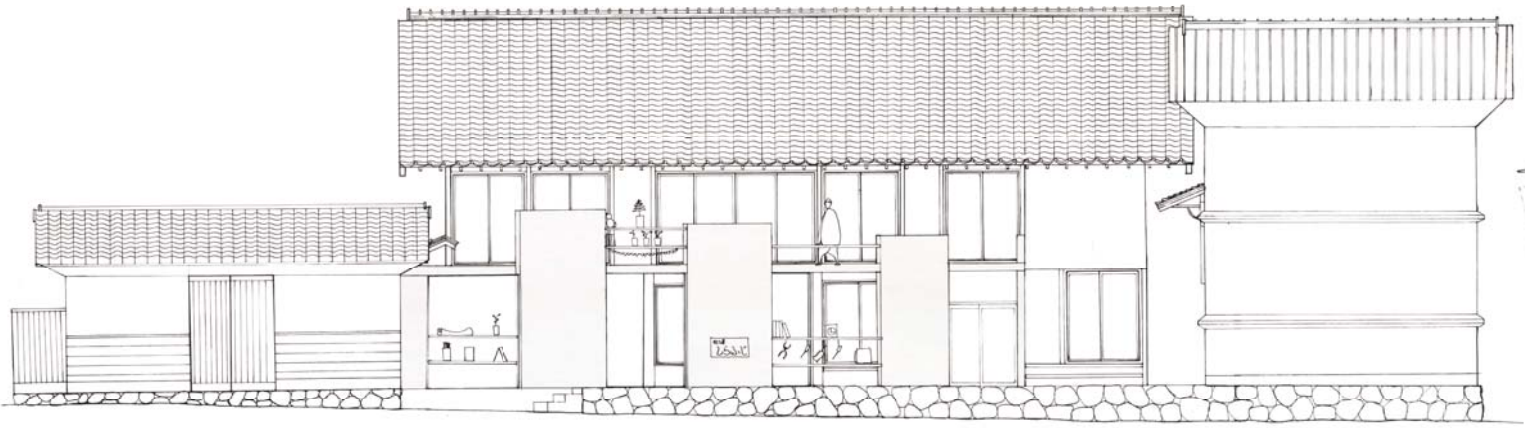




テラスによって建物につながりが生まれ、豊かな住空間となっていく



裏側となっていた、町に開かれた工房と生活テラスは、新たな白藤の
表の空間へと変わる



ご静聴ありがとうございました

ヒトツヅキに住まう



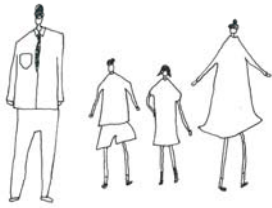
00 現状分析





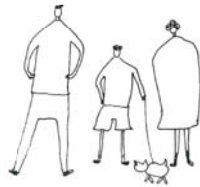


01 住人構成



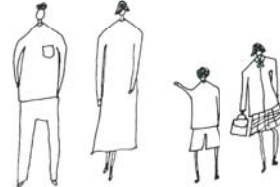
4人家族

+



3人家族

+



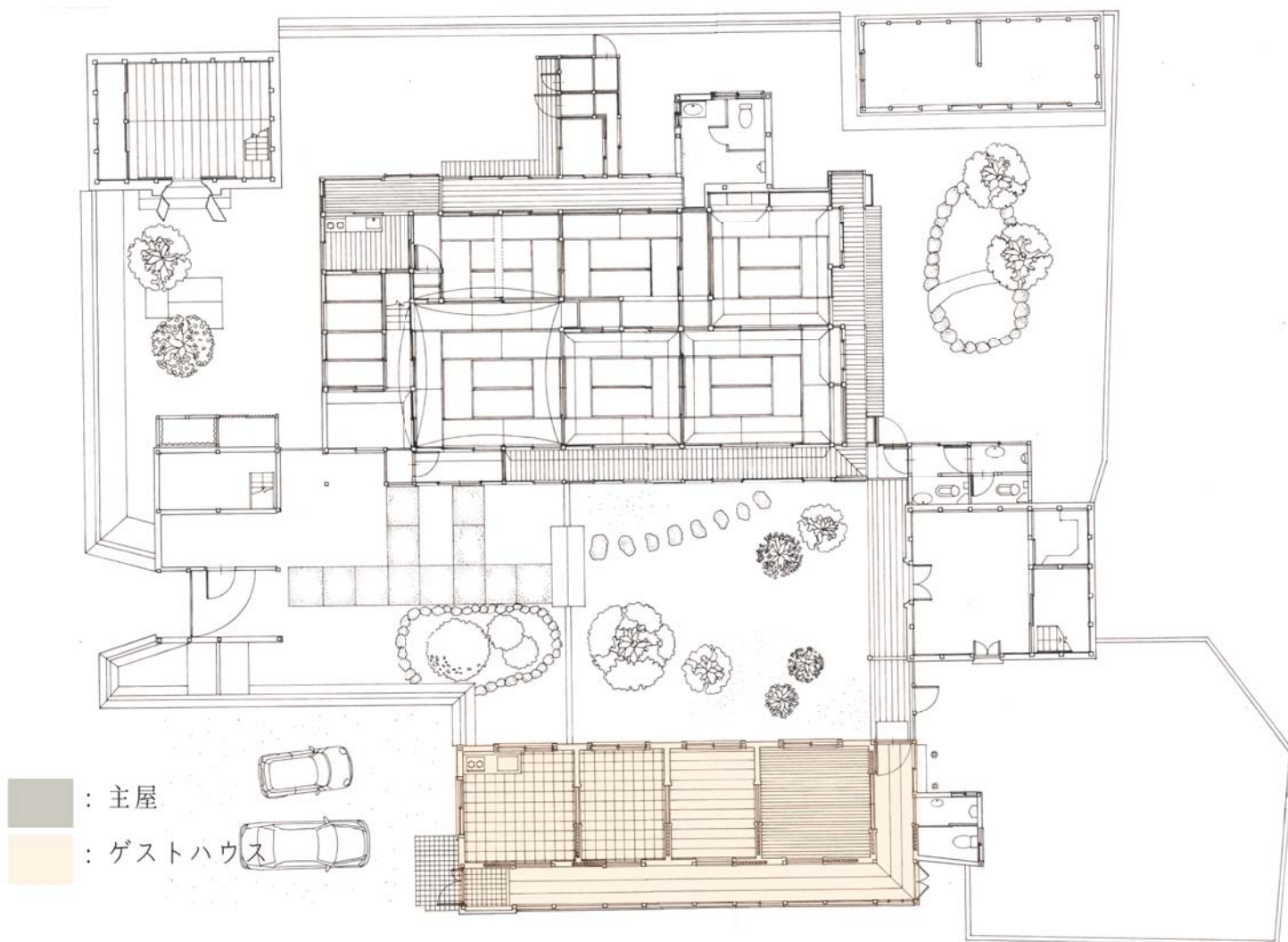
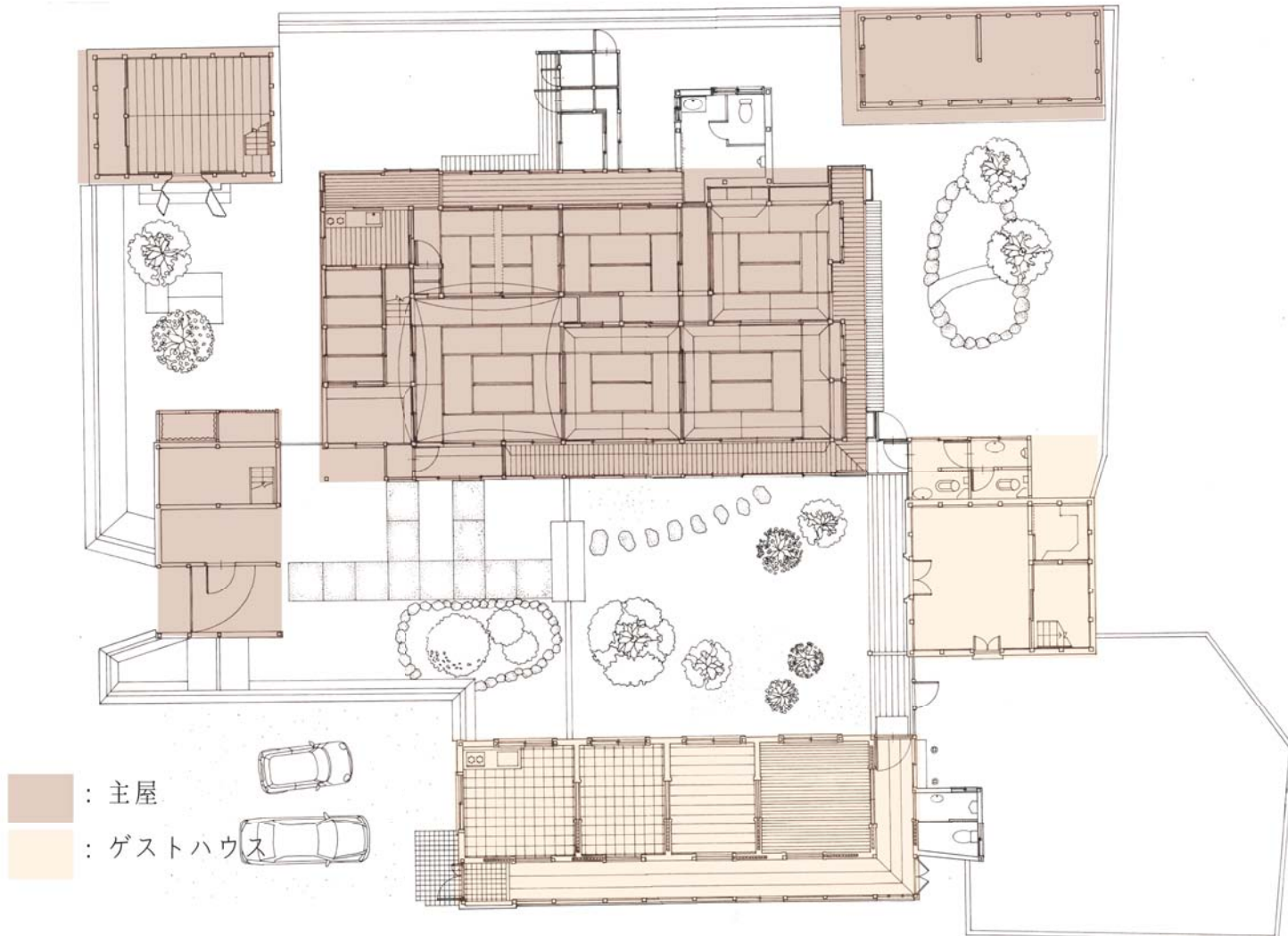
4人家族

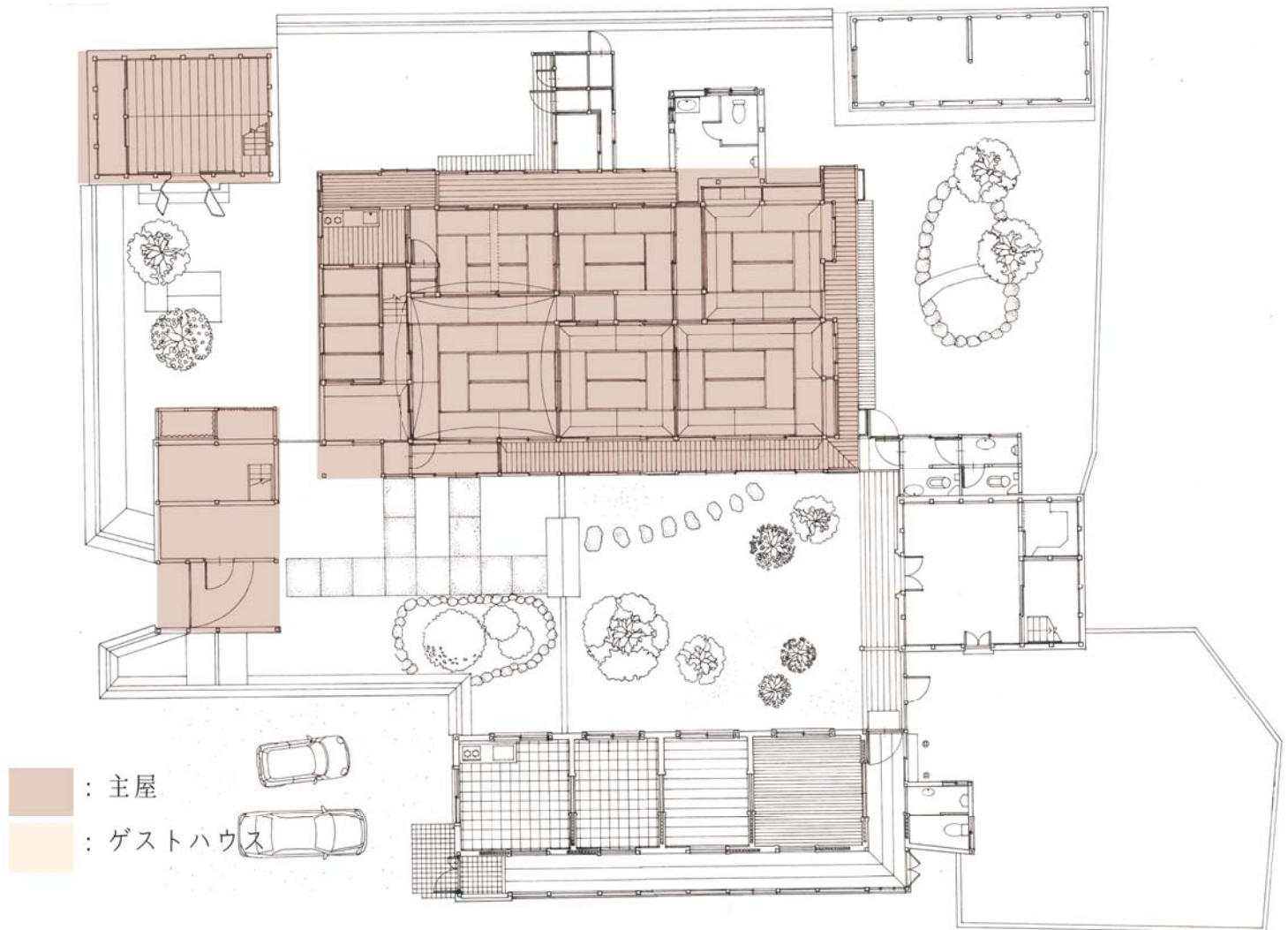
+



ゲストハウス宿泊者

02 ゾーニング





03 プログラム

集まって住むことをあらためてかんがえる。
だれかがいる気配に安心感を覚えたり、みんなで囲む団欒に魅力を感じる。

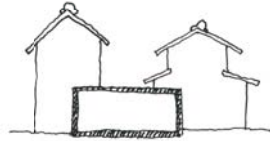
タテとヨコのつながりをつくることで、
吹き抜けを介して住人たちは顔を合わせたり、
空間を通して匂いや生活音を共有する。

見通せないけれど連続している空間のなかでその人同士が
その距離感に程好さや居心地を感じてくれることを目的とした、
集まって住むこと再考した集合住宅。

04 操作手順



建物はひとつひとつ完結し、
その良さが閉じ込められている。



建物間にハコモノを新設
空間をヨコに広げる。



吹き抜けをつくる。
空間がタテにも広がる。



ひとつづきの空間で
住み分けを行う

04 操作手順



建物はひとつひとつ完結し、
その良さが閉じ込められている。



建物間にハコモノを新設
空間をヨコに広げる。



吹き抜けをつくる。
空間がタテにも広がる。



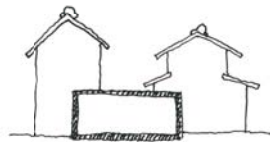
ひとつづきの空間で
住み分けを行う



04 操作手順



建物はひとつひとつ完結し、
その良さが閉じ込められている。



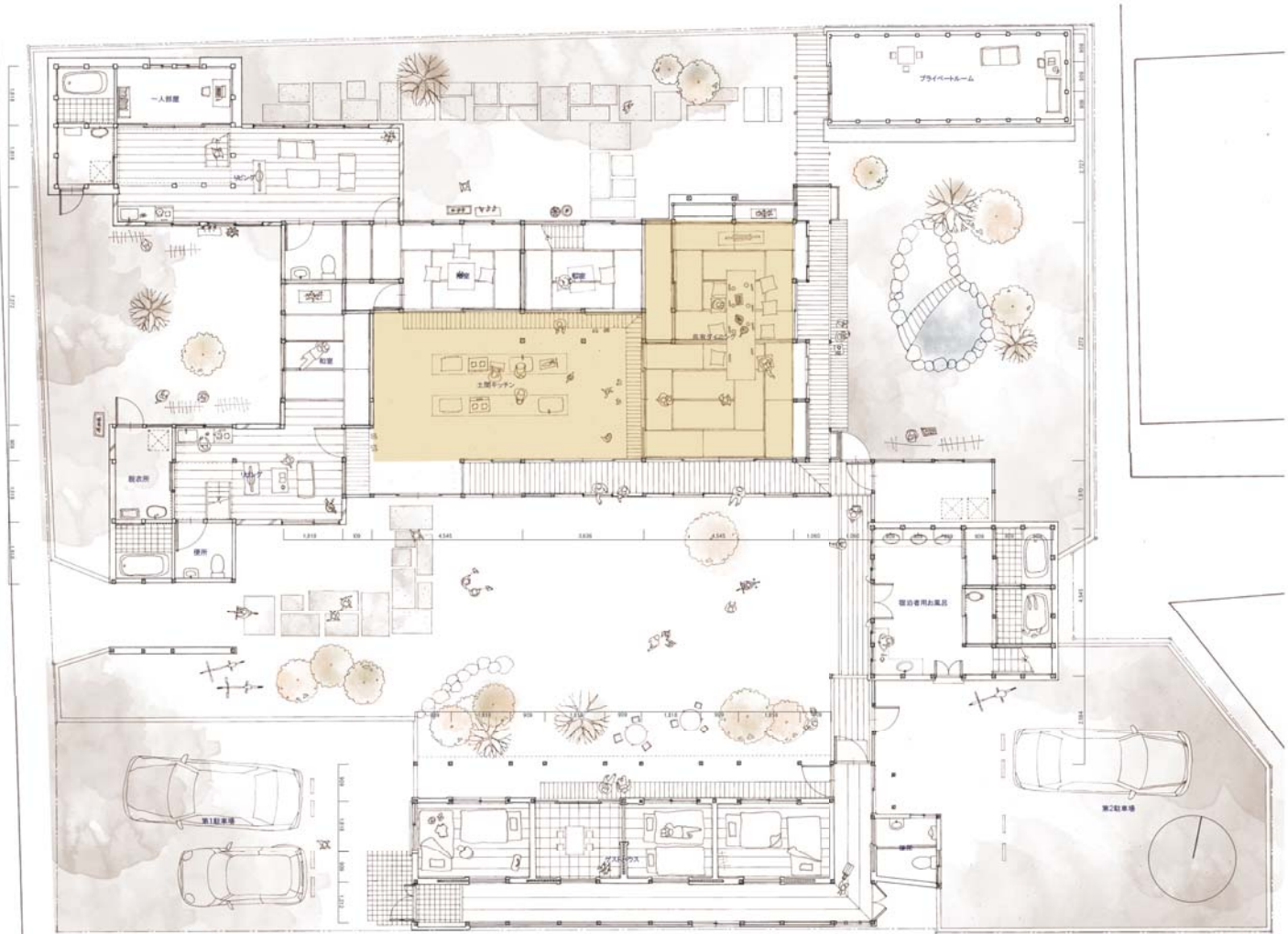
建物間にハコモノを新設
空間をヨコに広げる。



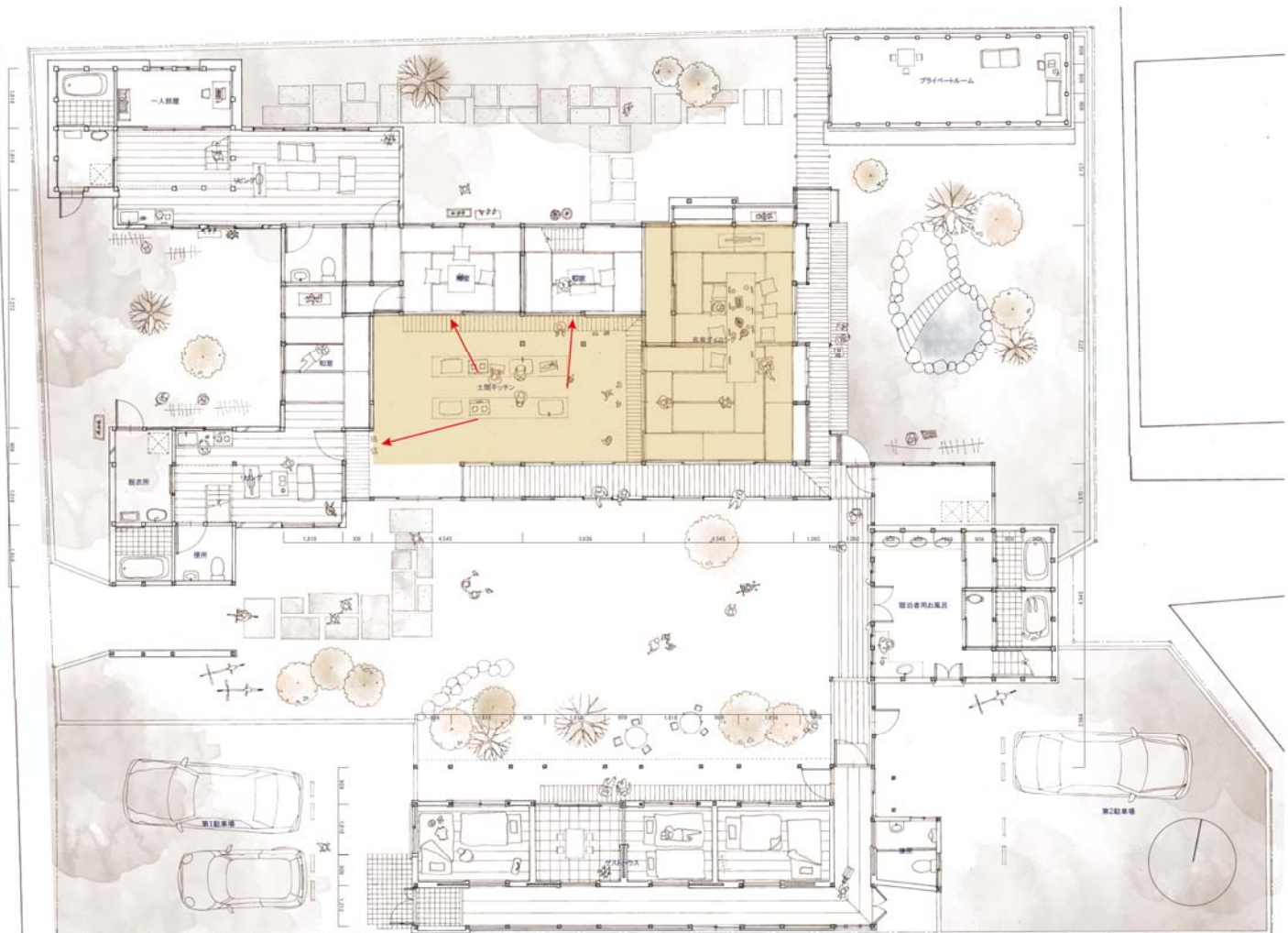
吹き抜けをつくる。
空間がタテにも広がる。



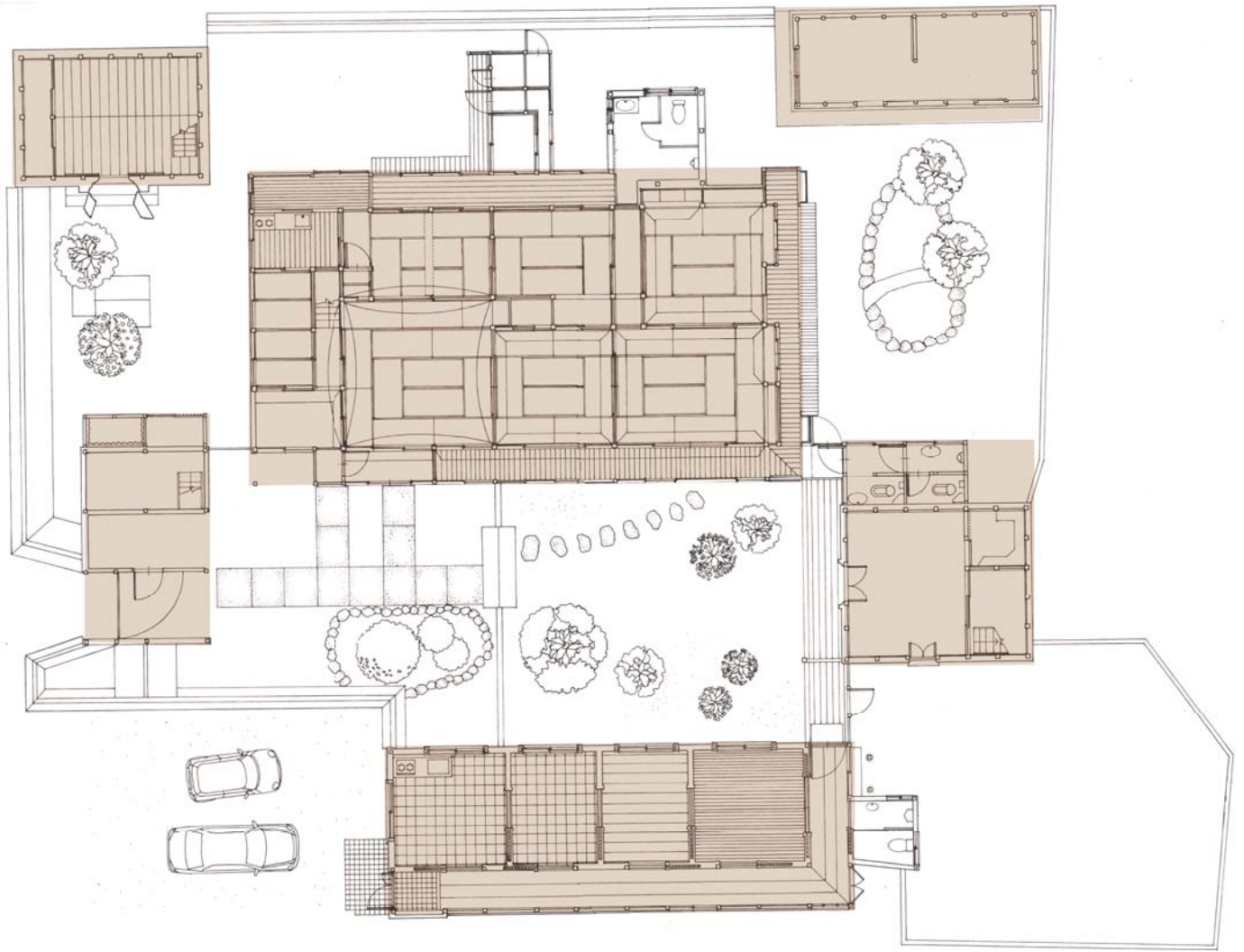
ひとつづきの空間で
住み分けを行う

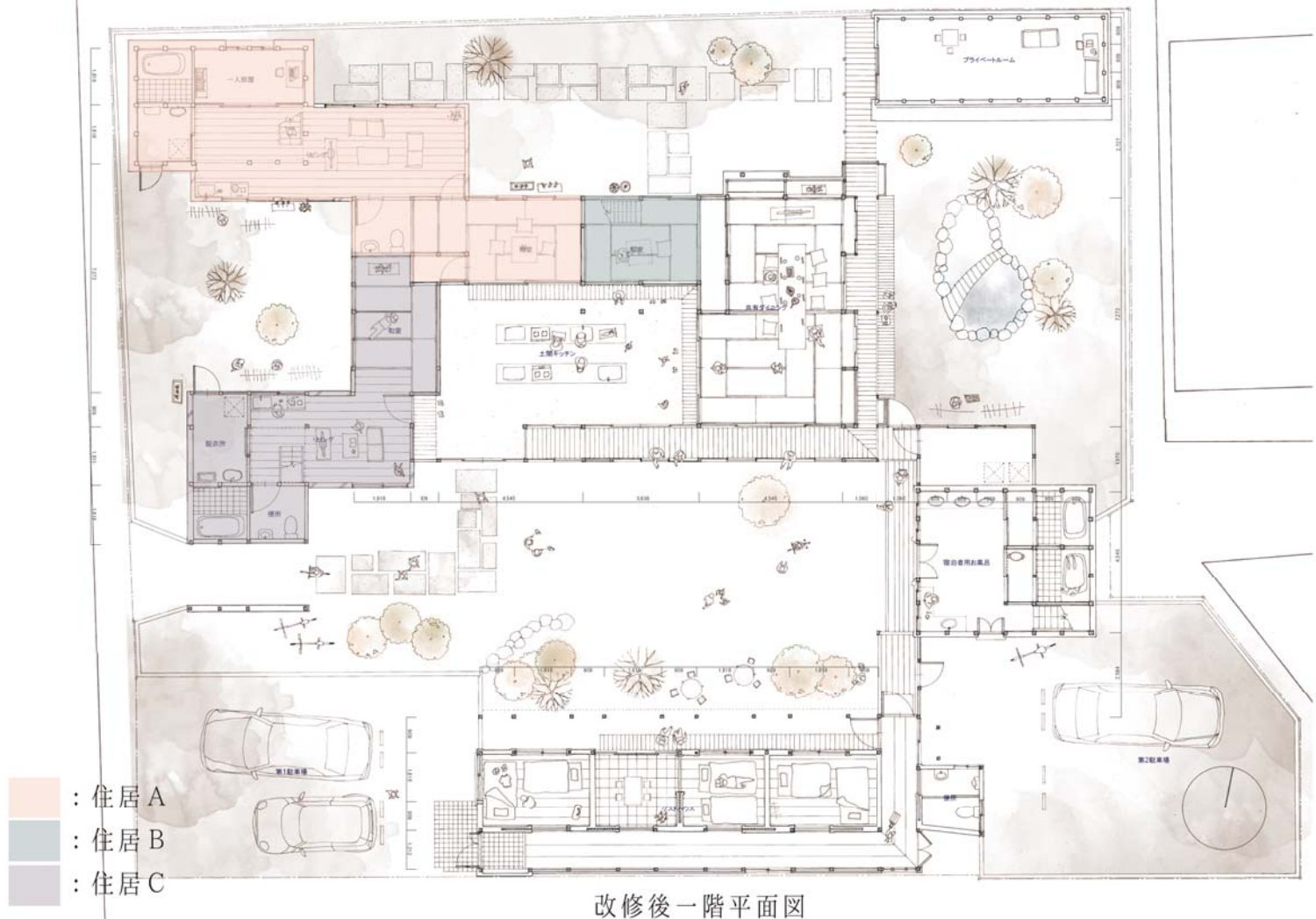


改修後一階平面図



改修後一階平面図





04 操作手順



建物はひとつひとつ完結し、
その良さが閉じ込められている。



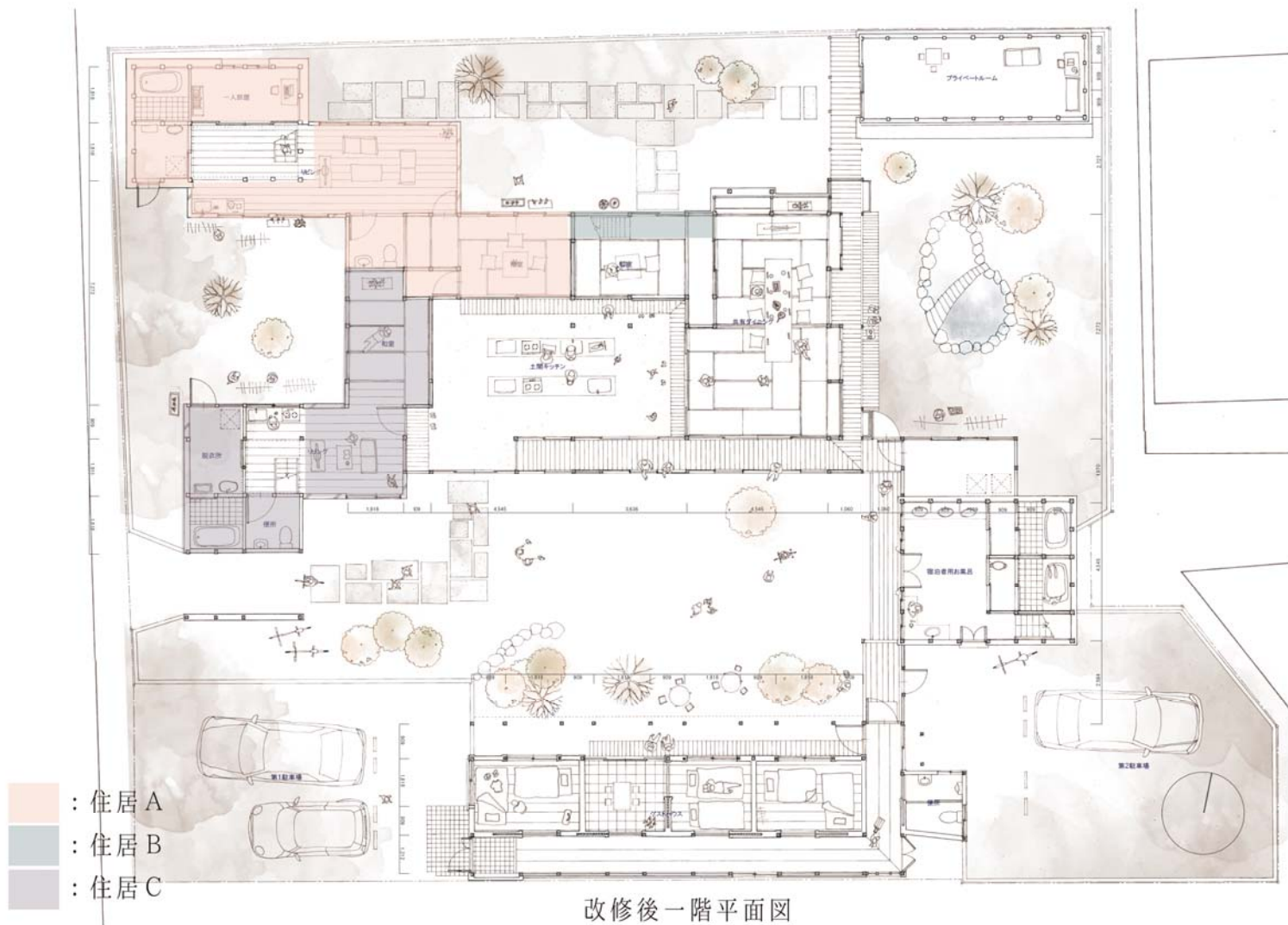
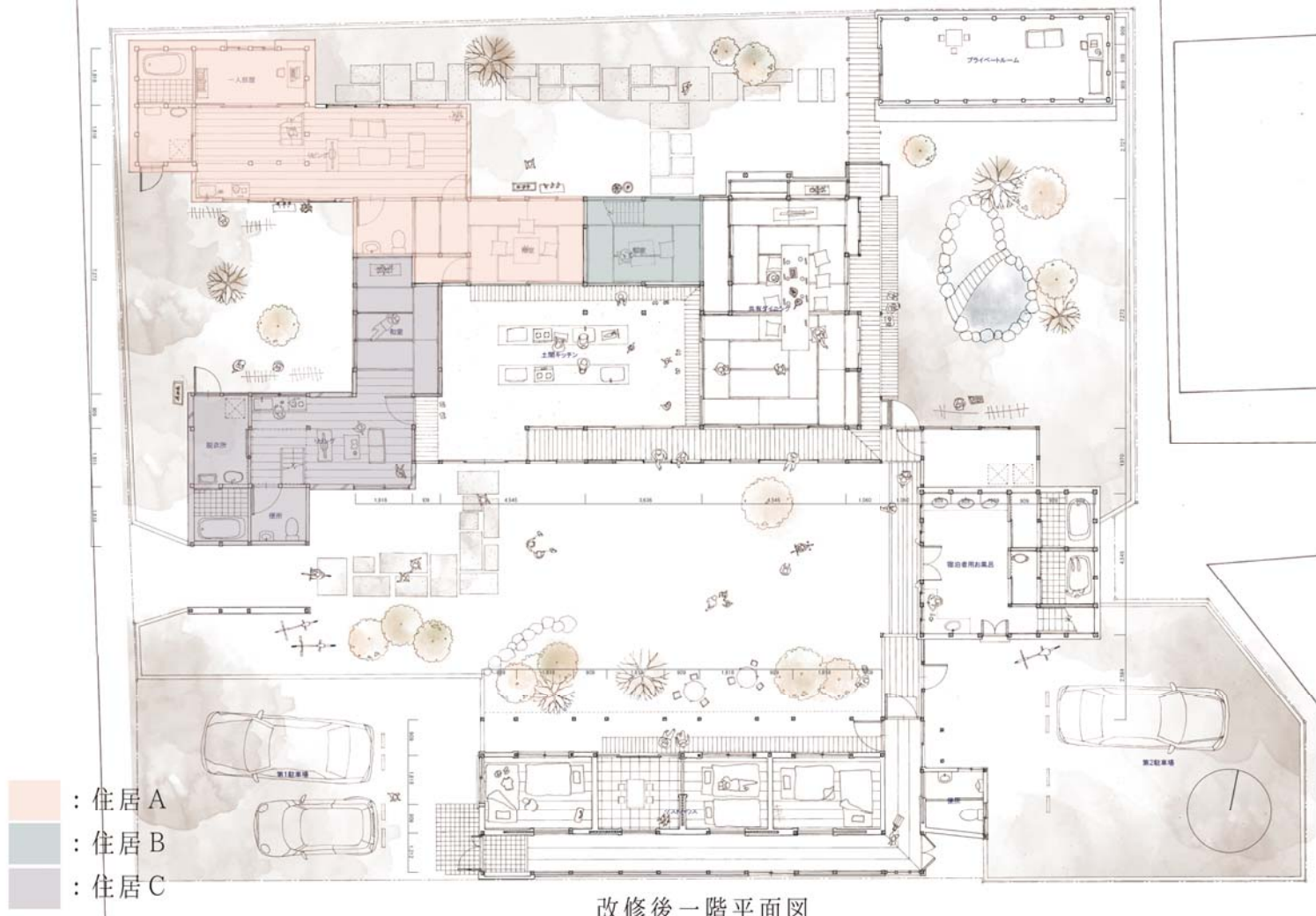
建物間をつなげるように
新設。ヨコに空間が広がる

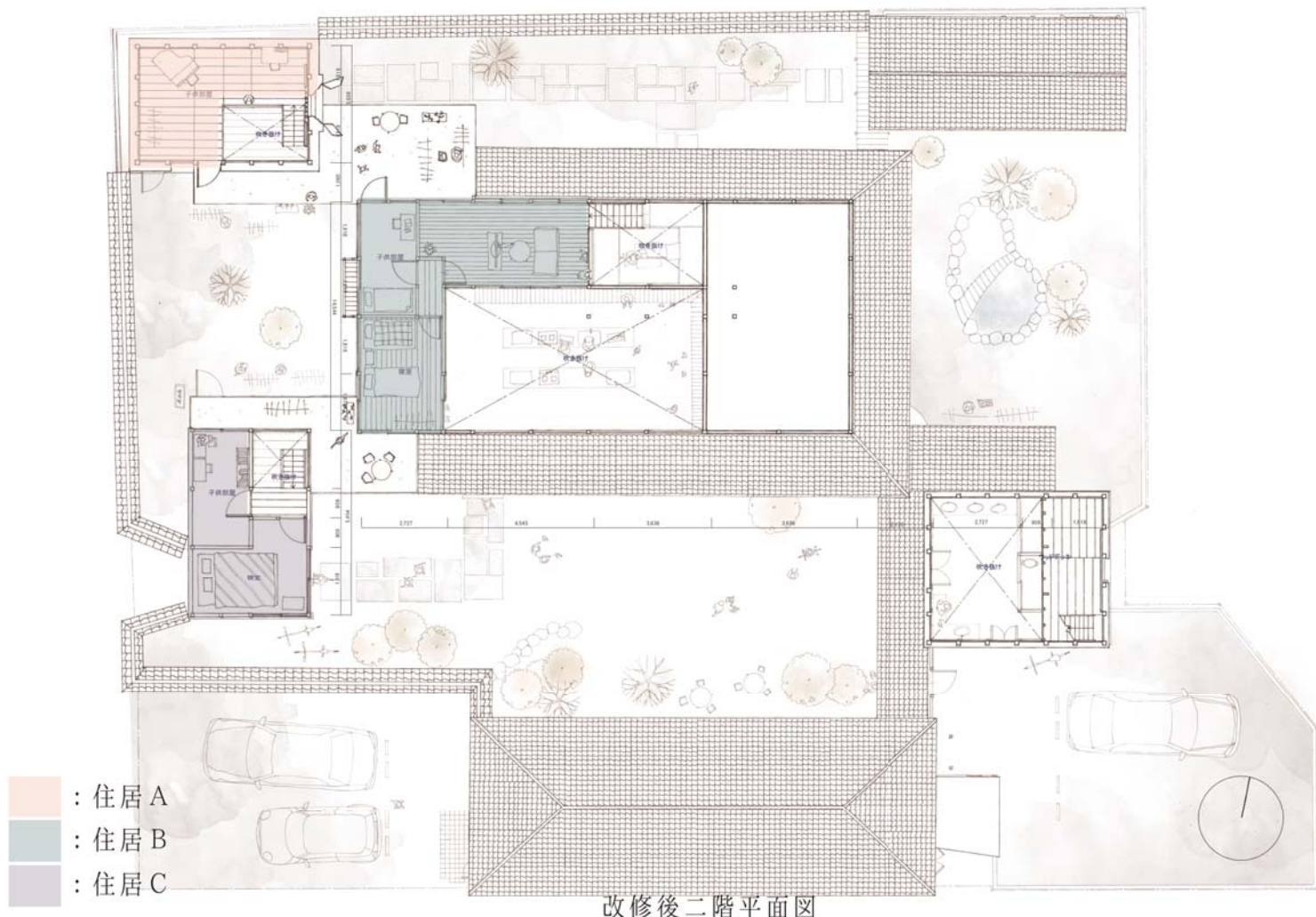


開口をつくる
タテに空間が広がる



ひとつづきの空間で
住み分けを行う





04 操作手順



建物はひとつひとつ完結し、
その良さが閉じ込められている。



建物間をつなげるように
新設。ヨコに空間が広がる

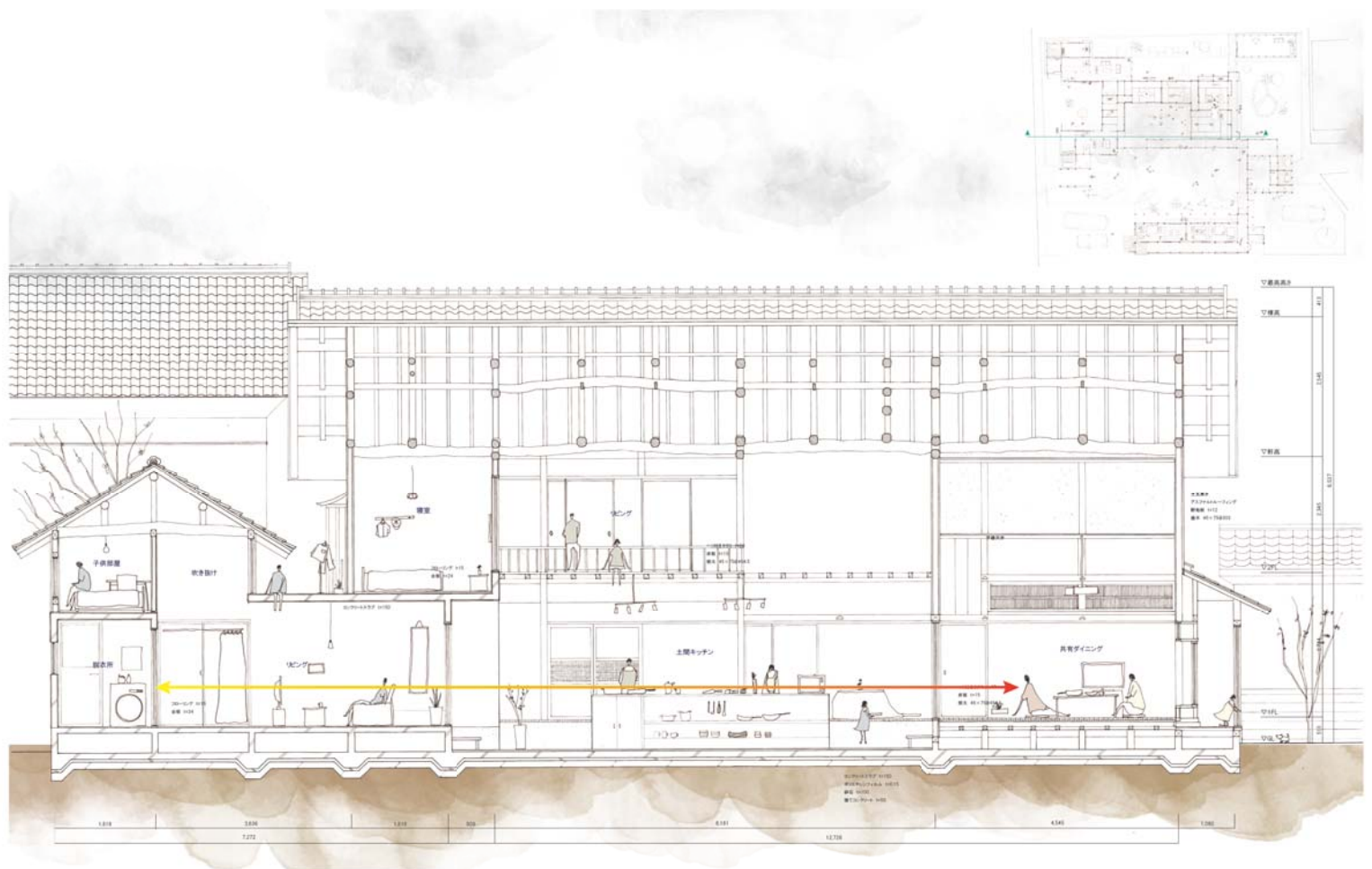


開口をつくる
タテに空間が広がる



ひとつづきの空間で
住み分けを行う

05 断面図



きゃべつの葉っぱと葉っぱのように

付かず離れずの程好い距離間で暮らす集合住宅。

明確な境界を作らず棲み分けされた **ヒトツヅキ** の空間は

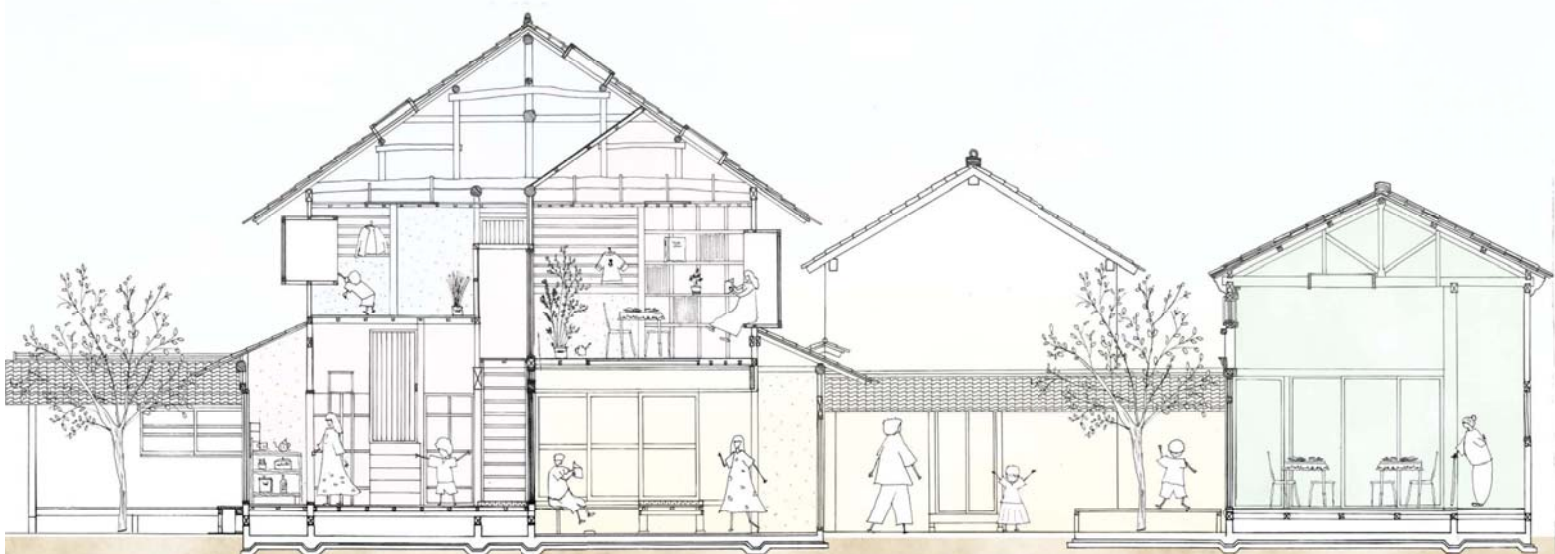
集まって暮らすことの魅力を引き出してくれる。

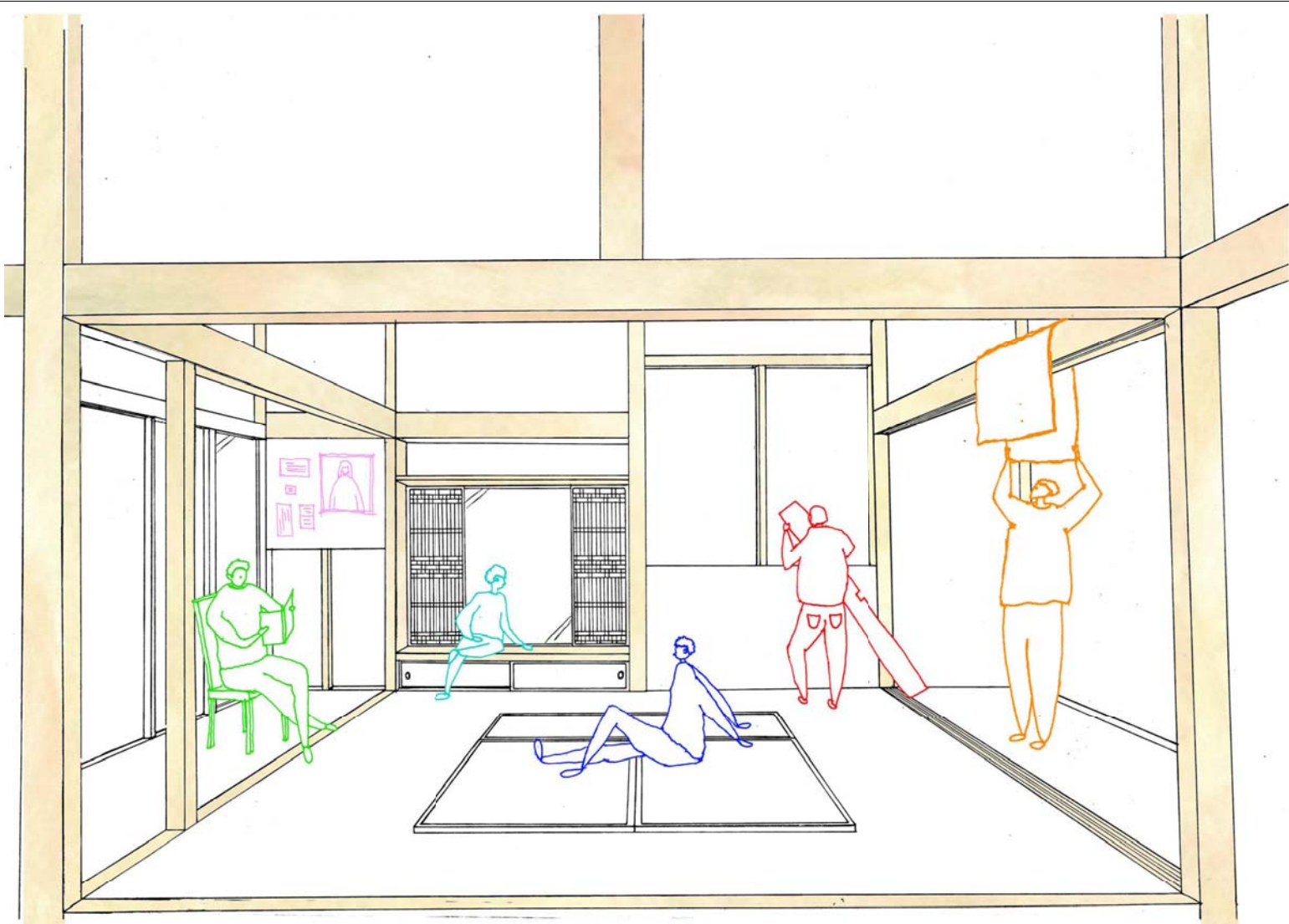


ご清聴ありがとうございました。

統一化から断片化へ

～多元的な表面積は人を主体的にさせる～





Concept

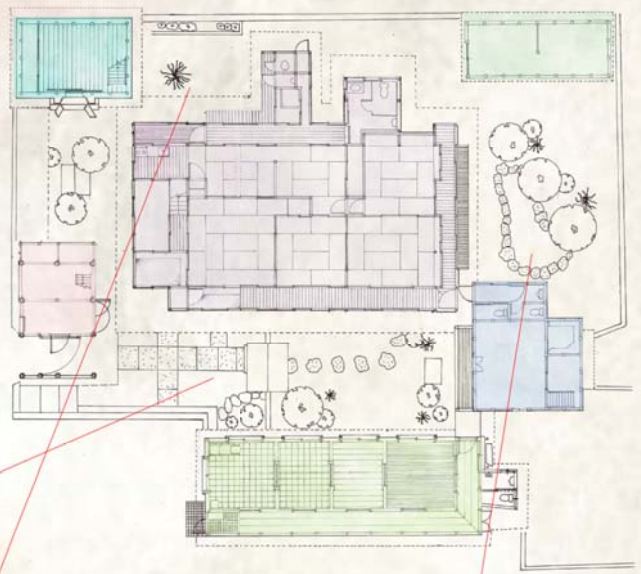
完成された空間は、住み手の思考を停止させてしまい、建築と関わりづらくなっているように感じた。”しらふじ”は歴史的なものということで余計に手を出しづらい。

住み手が自由に使う建築、つまり、究極に人が住みこなす家を提案する。

“しらふじ” 現状分析

- 様々な時代や大きさ、素材感など バラバラな分塔形式

- 様々な特徴を持った庭があり、それが建物の人間的なスケールな配置により緩やかにつながっている

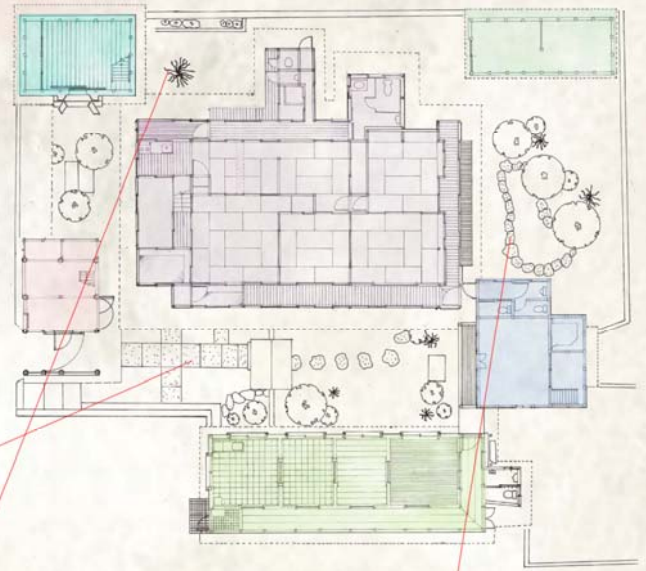




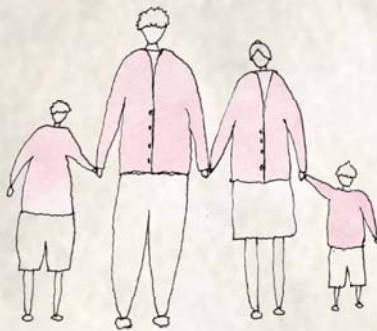
“しらふじ” 現状分析

・様々な時代や大きさ、素材感など バラバラな分塔形式

・様々な特徴を持った庭があり、それが建物の人間的なスケールな配置により緩やかにつながっている



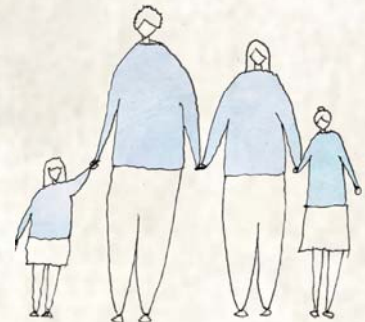
Program



さとやまほいく家族



老夫婦



英語教室家族

住民構成

本好きな管理人の老夫婦

2人

英語教室を行う家族

4人

+ a

さとやまほいくの経営者家族

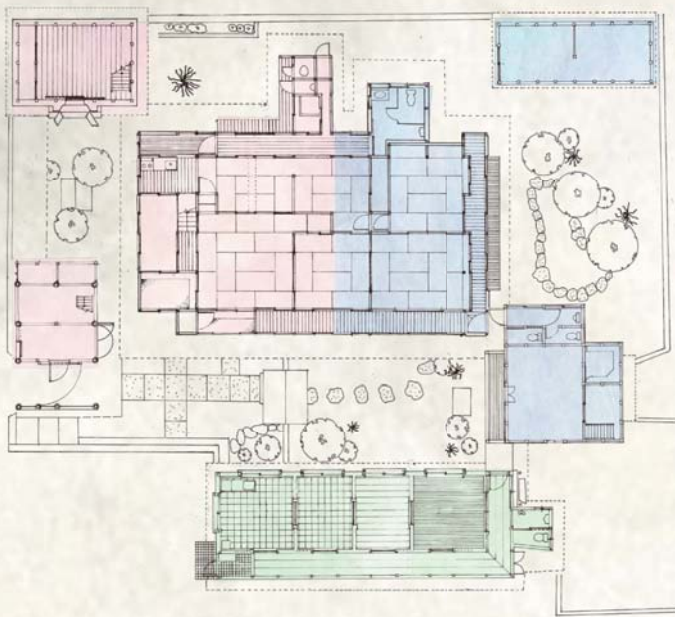
4人

計 10人

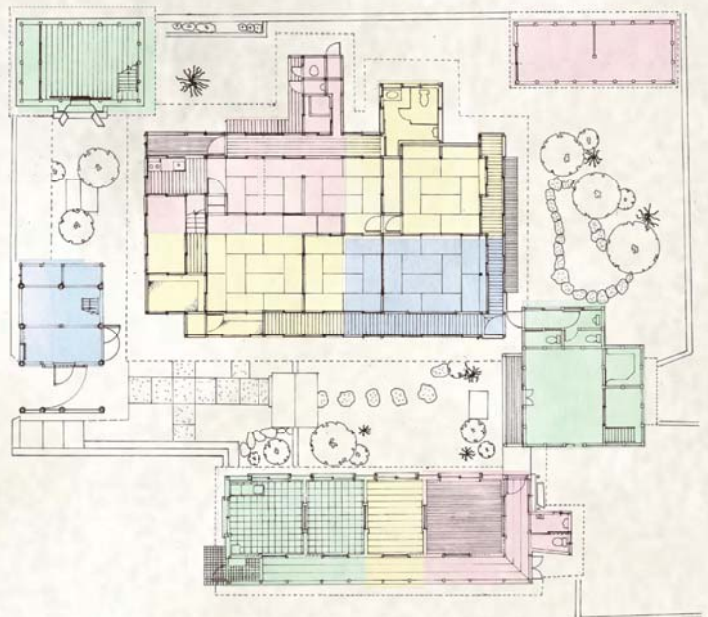


利用者

操作① 居住空間をバラバラにすることで主体性を生む

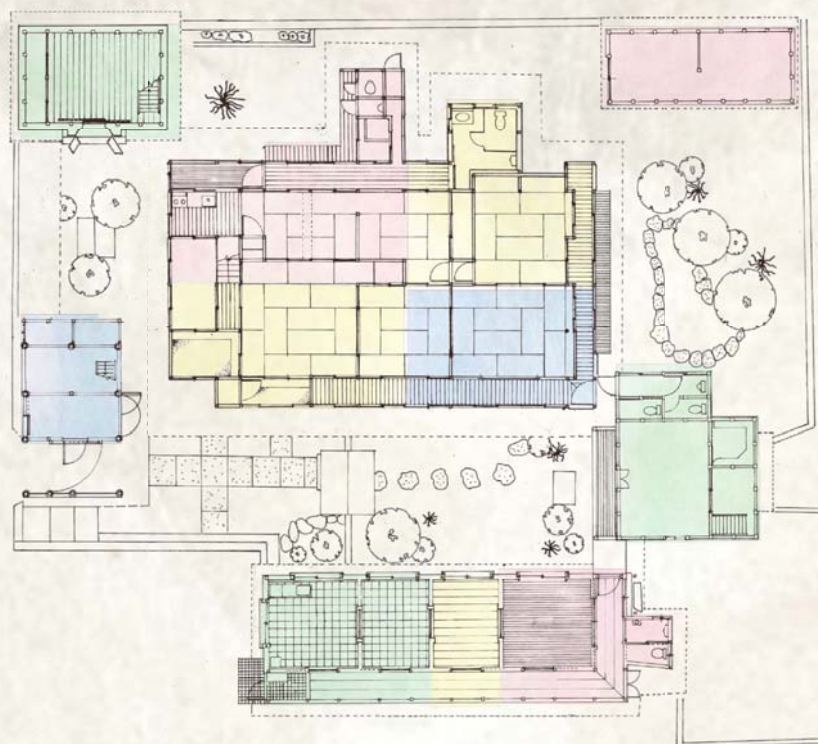


通常の居住空間の配置



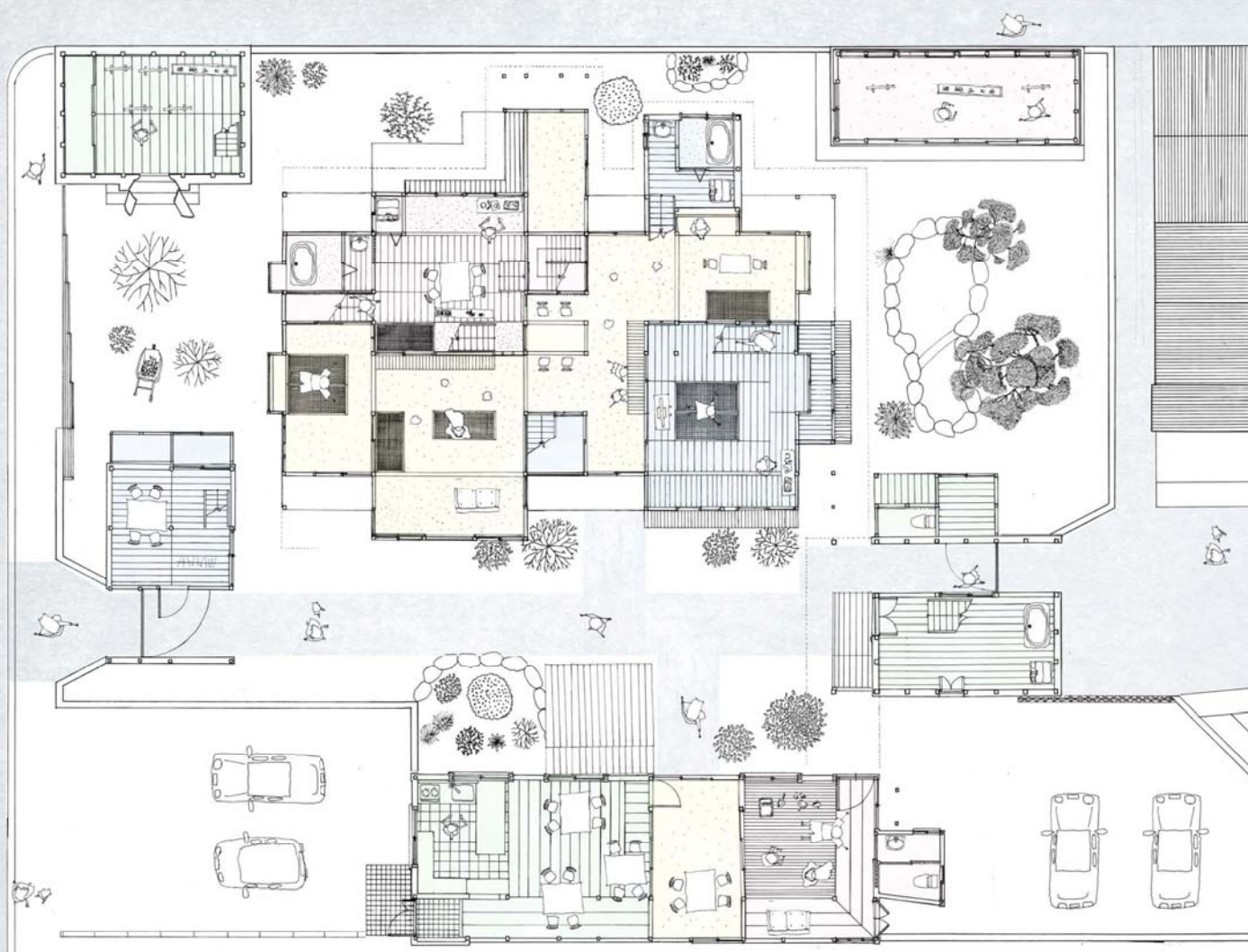
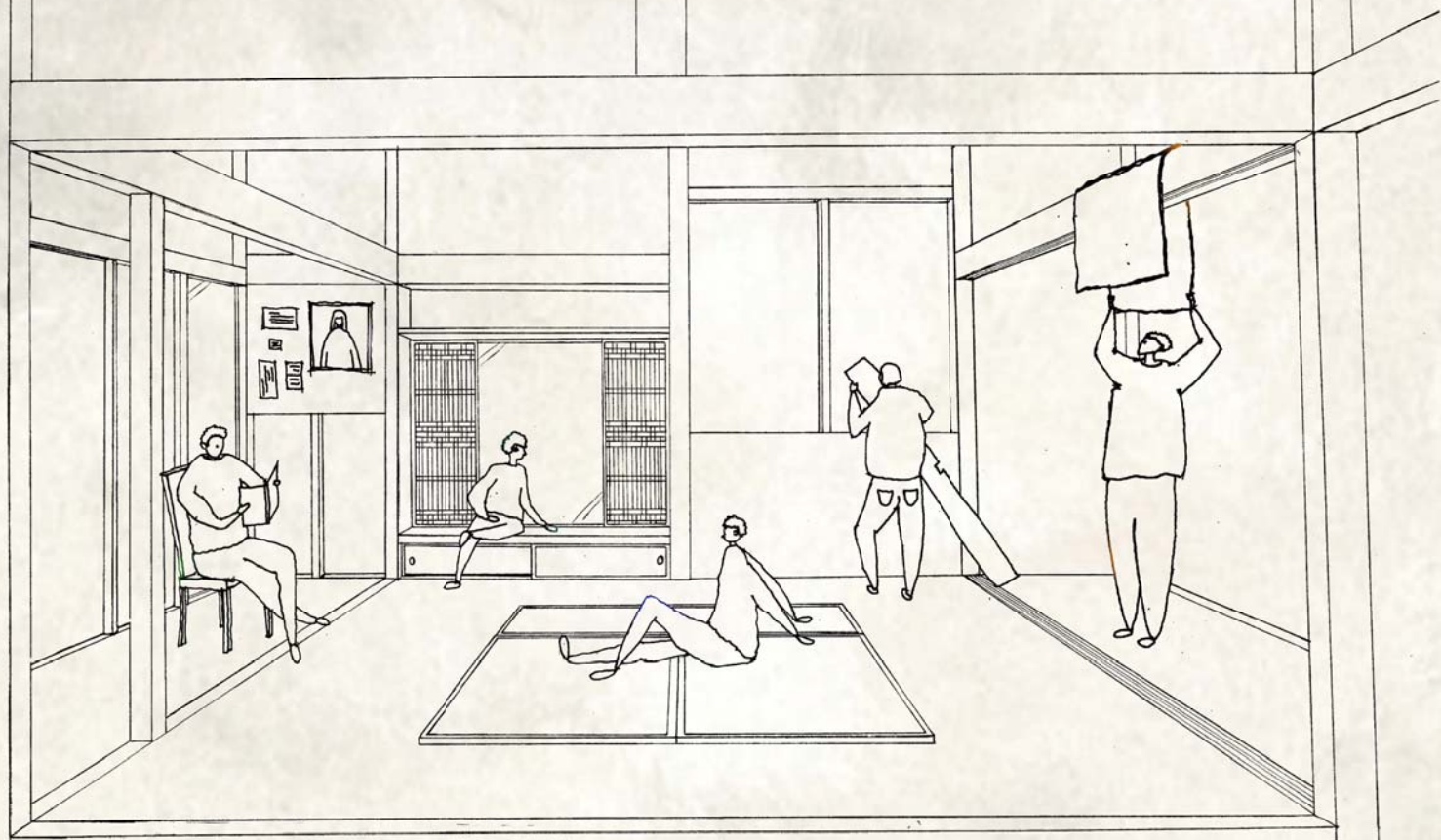
居住空間の断片的な配置

操作① 居住空間をバラバラにすることで主体性を生む

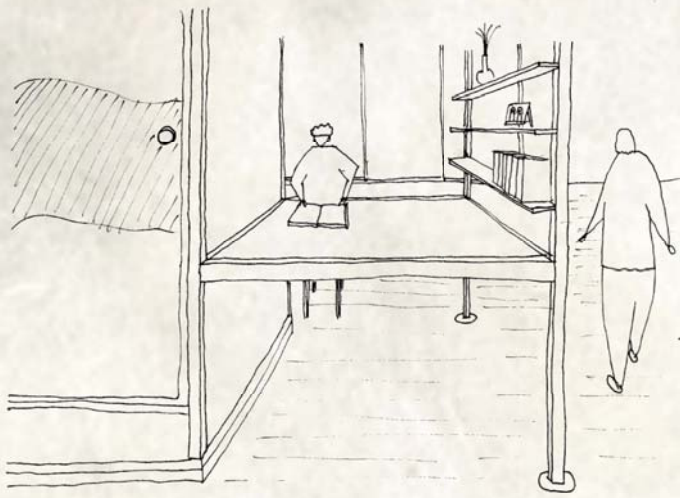


3 世帯の居住領域をゾーニングし、建物の配置、ストラクチャー（構造）
と照らし合わせながら配置していき中間領域を作っていく

操作② 古いものを解体して、エレメントに目を向けさせる

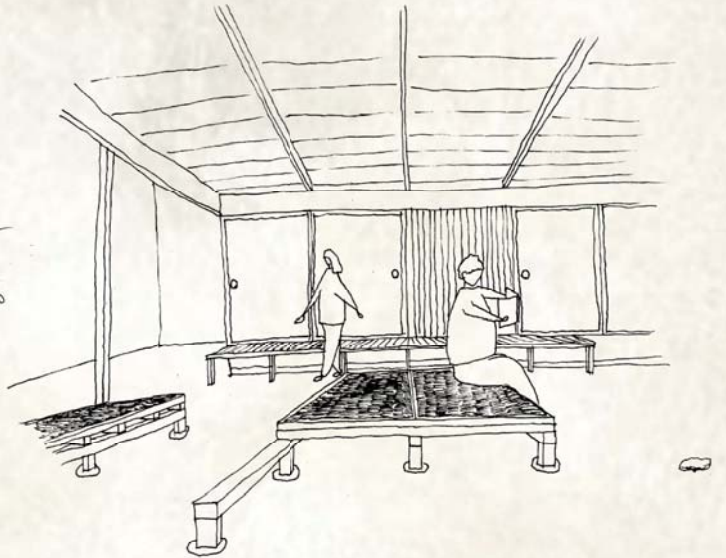


押入れの解体

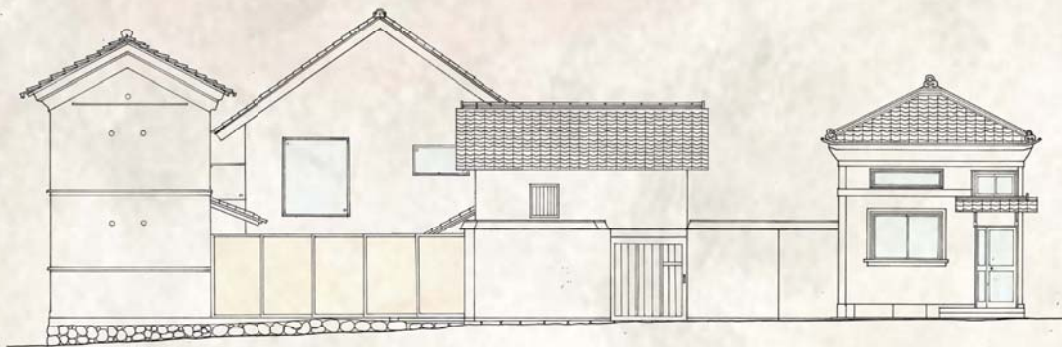


机になったり、板を取り付けて
棚になったり、、、

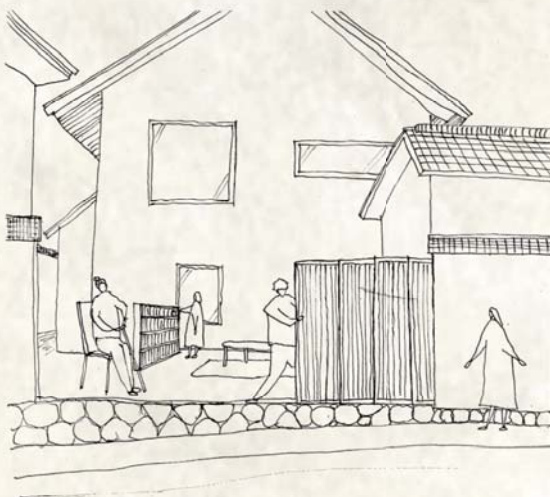
ゆかの解体



張り出した大引や残された礎石は新
たな畳の場になったり、、、

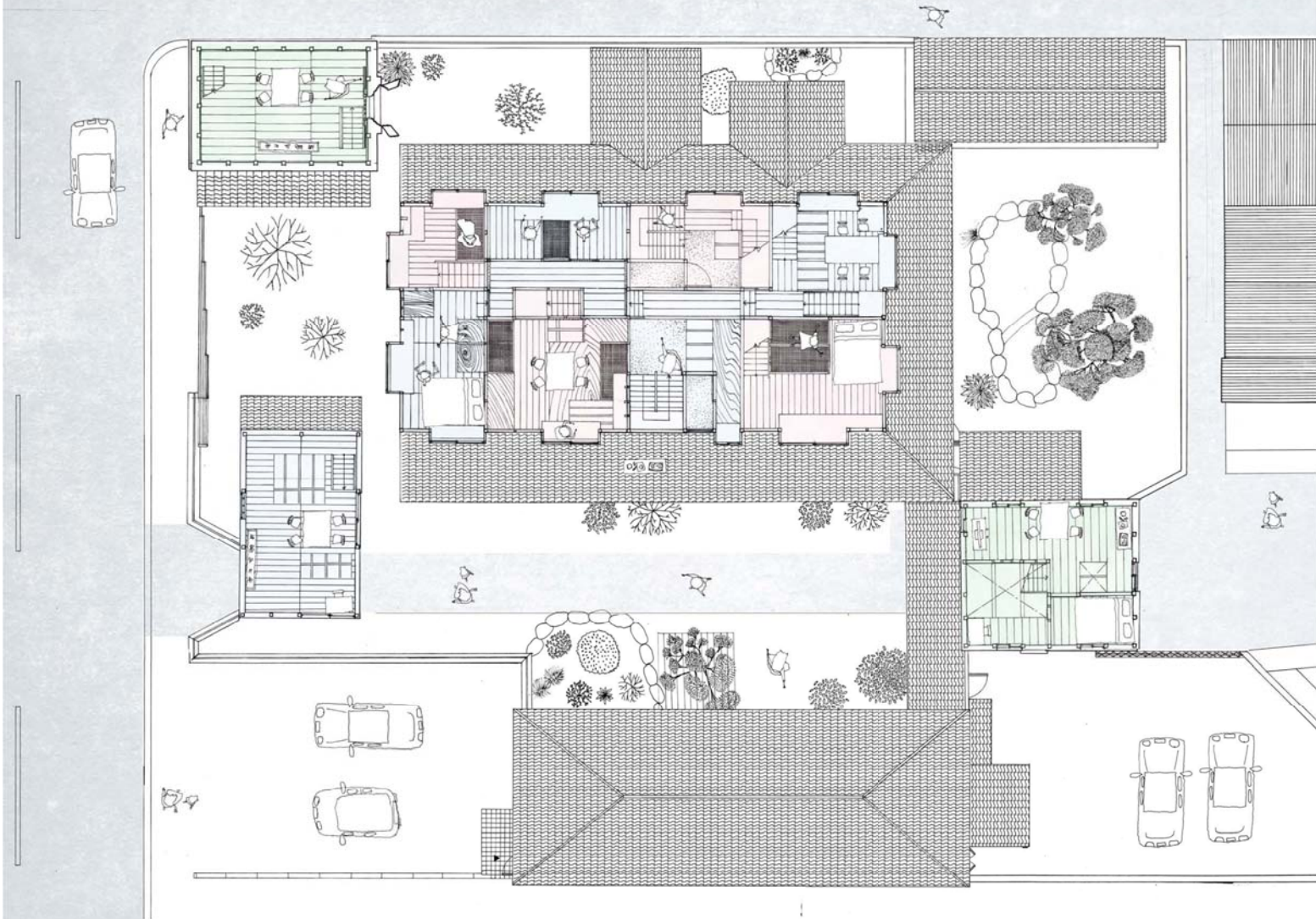


西立面図



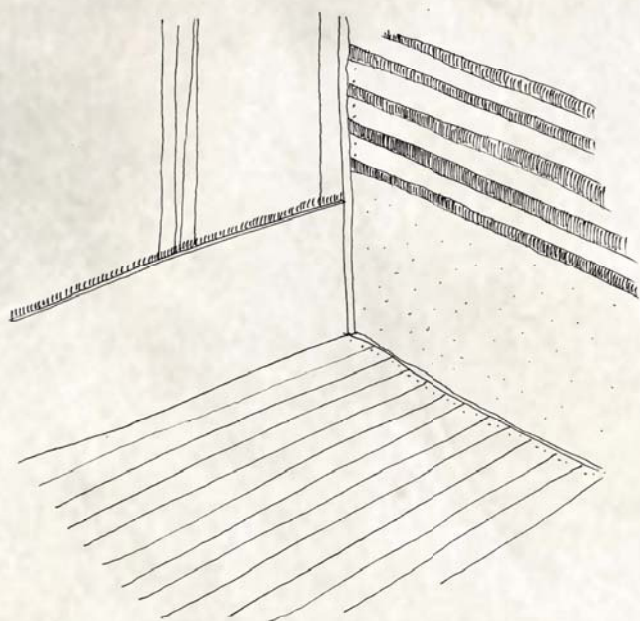
居住空間の断片化と塀の建具化

本好きな管理人の屋外図書館
狭いゆえに建具を開く。
さとやまほいくの人々も利用する、、、

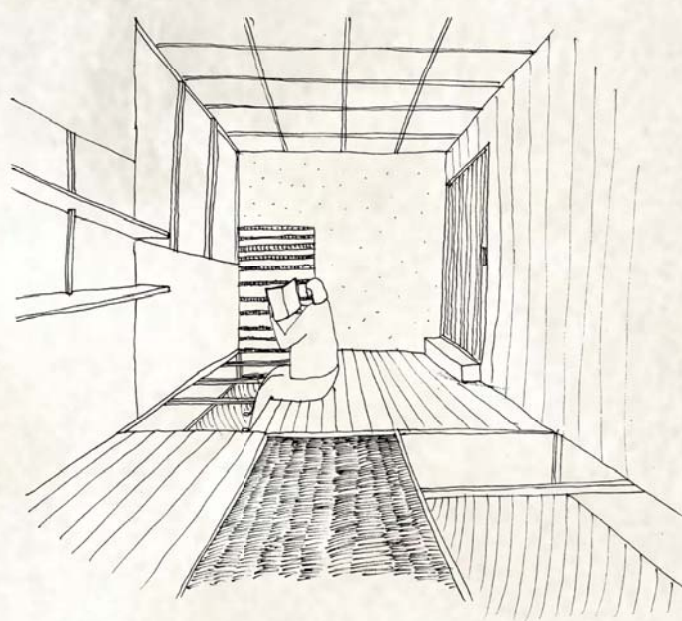


壁の解体

ゆかの解体

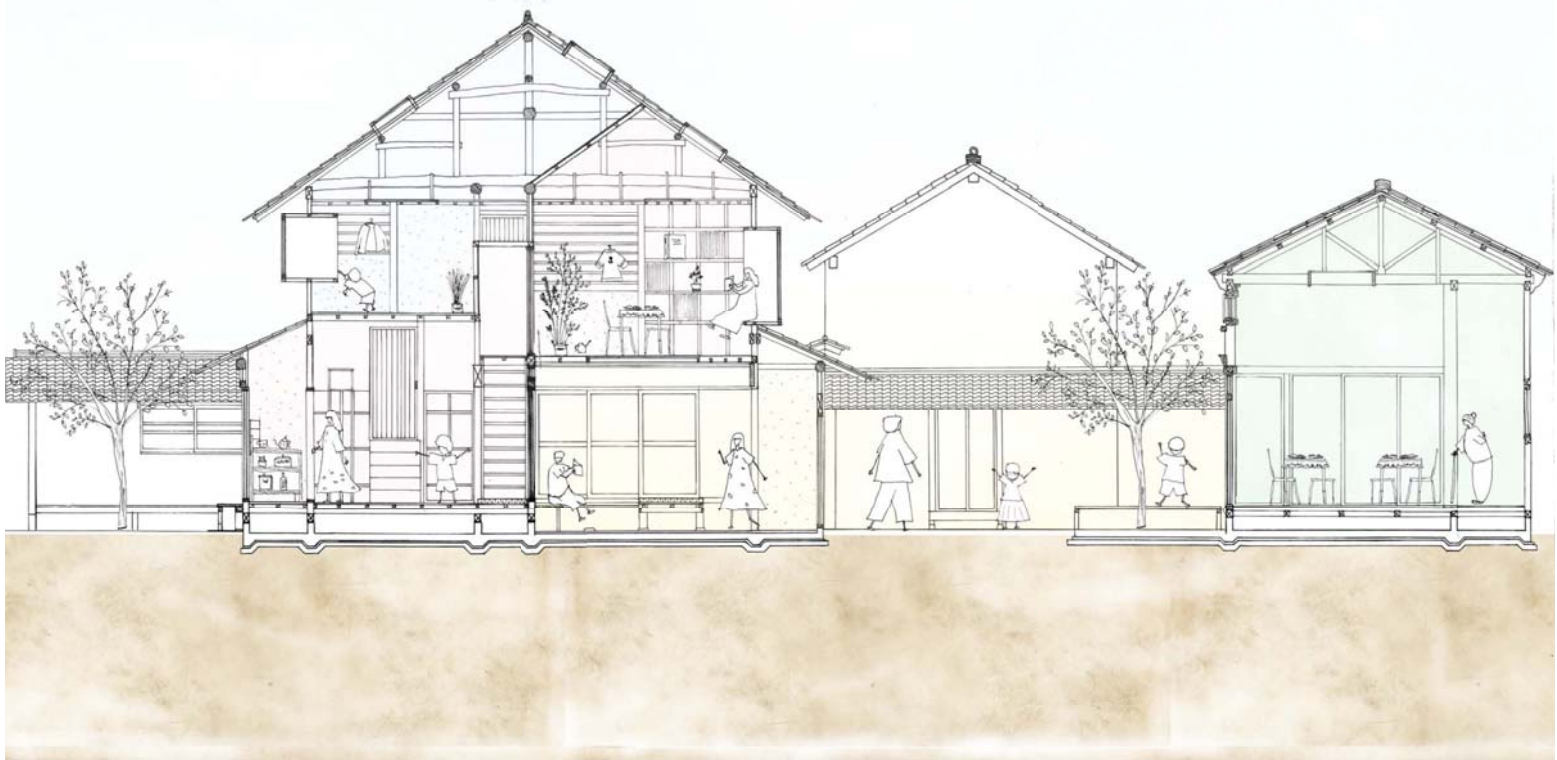


住み手が建築に対してアプローチしやすくなる。

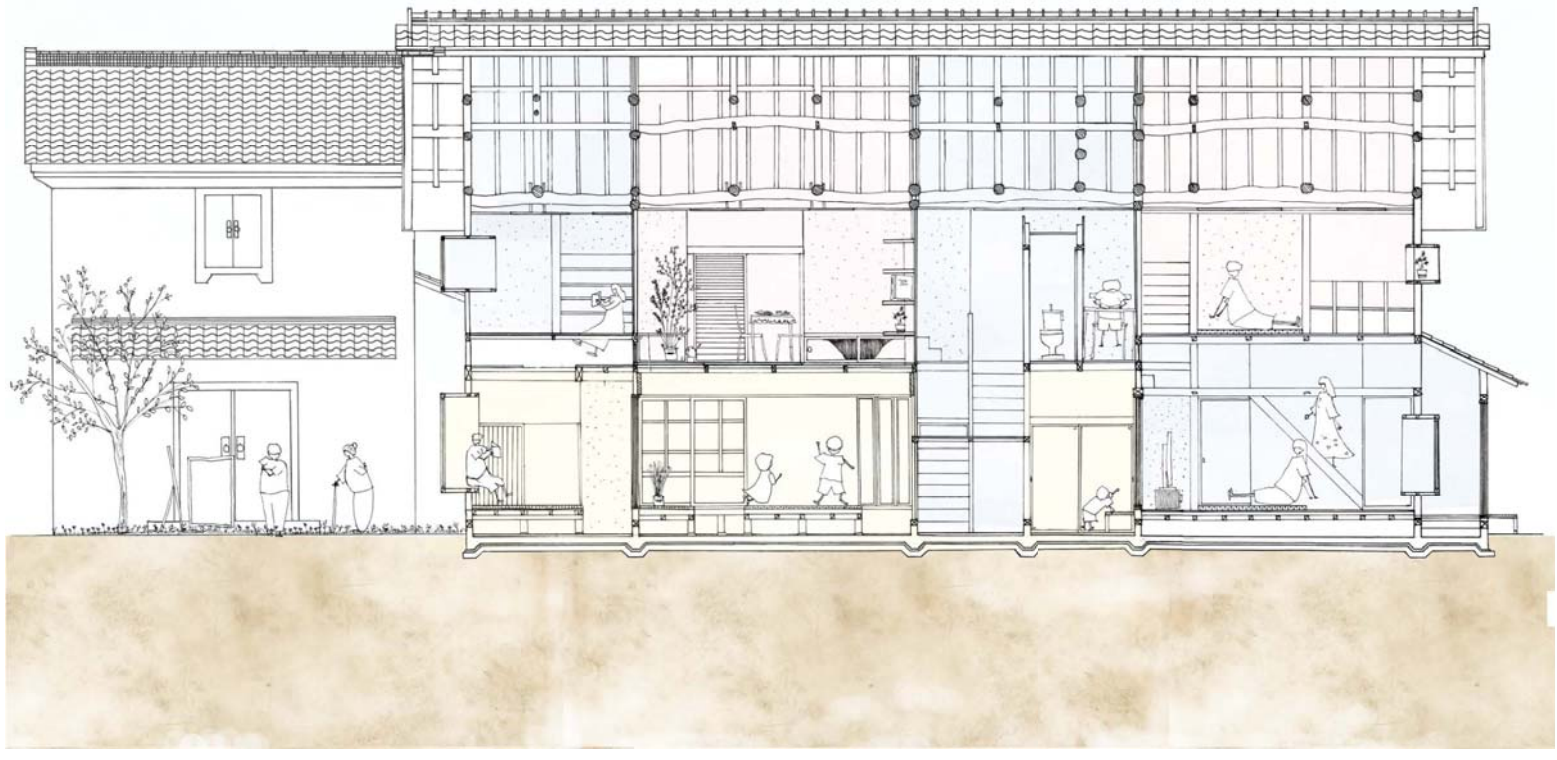


未完成のように様々な要素があると人は考えながら建築を使うようになる。

断面計画

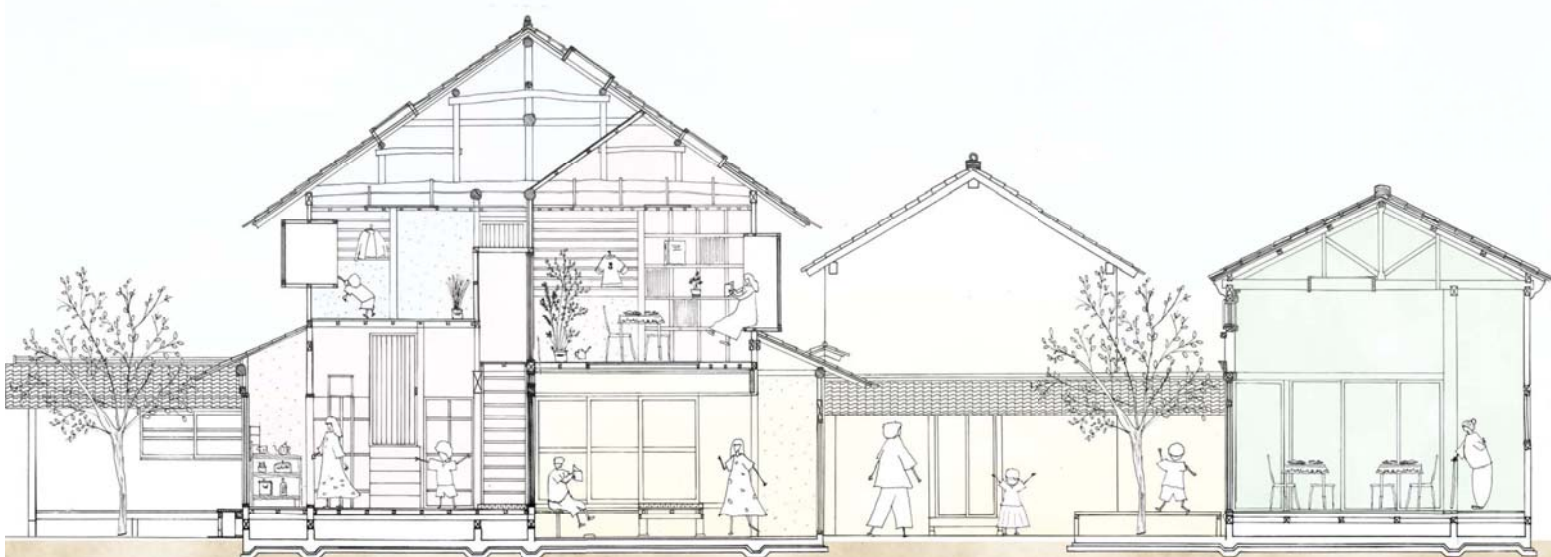


断面計画



この建築は、メンテナンスフリーと呼ばれる建築と人との離す風潮に
疑念をなげかけます。

完成された空間では、人は昔の魅力的な手入れの文化のような、積極的
に建築と向き合おうとしない。バラバラになっていることで建築と人と
を結びつけ、生きられた家になっていく。



ご静聴ありがとうございました